

函南町公共施設個別施設計画

令和3年3月

函 南 町

目 次

1. 計画の目的等	1
1.1 目的	1
1.2 位置づけ	1
1.3 計画期間	1
1.4 対象施設	2
1.5 施設の状況	3
2. 劣化状況調査及び劣化度評価	4
2.1 劣化状況調査	4
2.2 劣化度評価	9
3. 個別施設計画の基本的な方針等	15
3.1 個別施設計画の基本方針	15
3.2 長寿命化の方針	16
4. 修繕・更新等費用の見通し	22
4.1 算定条件	22
4.2 標準使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用	23
4.3 修繕・更新等の費用の平準化の考え方	24
4.4 目標使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用	26
5. 施設類型別長寿命化計画	27
5.1 住民文化系施設	27
5.2 社会教育系施設	29
5.3 スポーツ・レクリエーション系施設	31
5.4 学校教育系施設	33
5.5 子育て支援施設	42
5.6 保健・福祉施設	45
5.7 行政系施設	47
5.8 公園	49
5.9 供給処理施設	50
5.10 その他	53
6. 計画のフォローアップ	54
6.1 情報の管理と共有	54
6.2 推進体制	54
6.3 フォローアップ	54

1. 計画の目的等

1.1 目的

本計画は、「函南町公共施設等総合管理方針」（平成 29 年 3 月）（以下、「総合管理方針」という）を推進するため、公共施設の劣化状況を調査し、建築部位等ごとの修繕・更新時期等を設定し、施設の計画的な修繕・更新等を実施することにより施設の長寿命化を図り、更新等費用の平準化や縮減に資することを目的としています。

1.2 位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」による個別施設計画であり、本町における公共施設等の管理方針等を定めた総合管理方針を踏まえ、策定します。

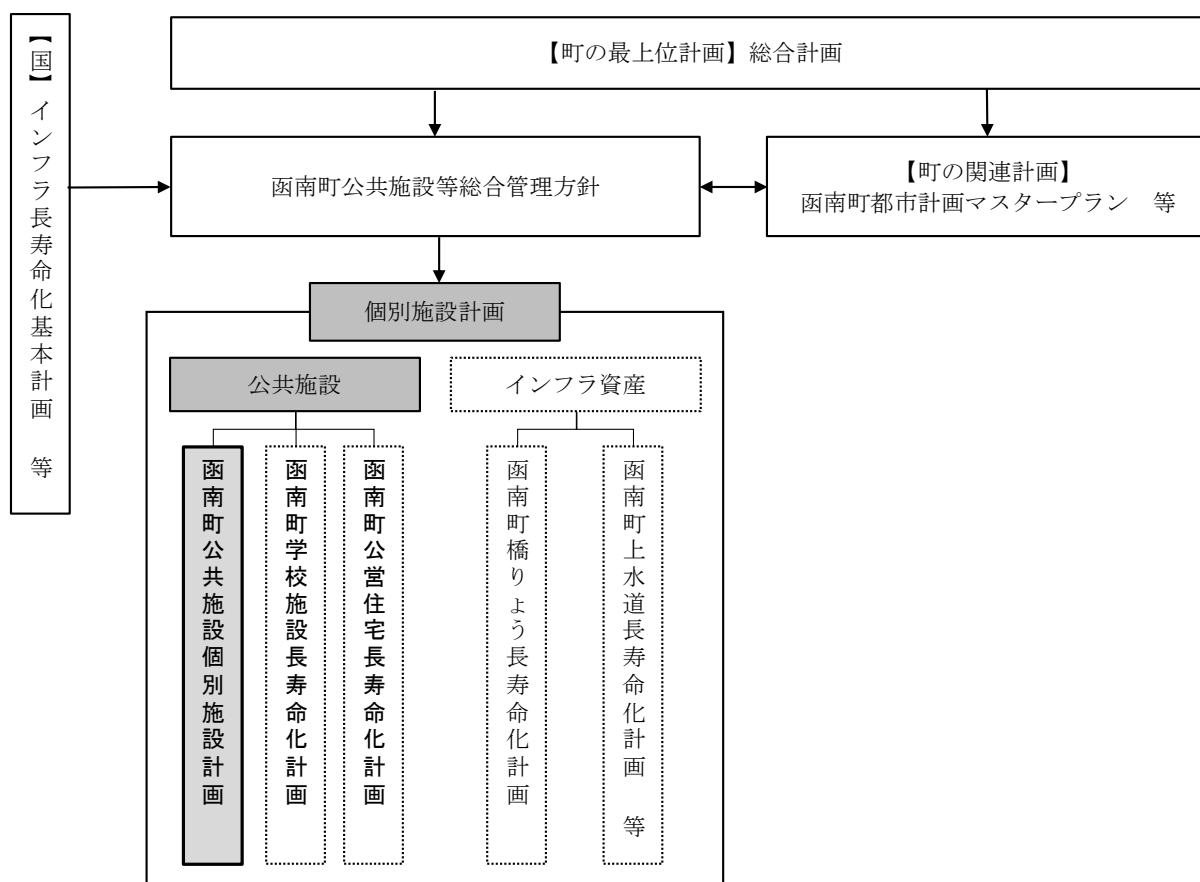


図 1-1 本計画の位置づけ

1.3 計画期間

本計画は、総合管理方針の実施計画であり、計画期間を令和 3（2021）年度から令和 38（2056）年度までの 36 年間とします。なお、維持・更新等コストの試算期間は、令和 2（2020）年度を基準年として、基準年の翌年の令和 3（2021）年度から 40 年間とします。

本計画は、上位計画等の見直しや社会情勢の変化などの状況に応じて、適宜見直しを行います。

計画期間：令和 3（2021）年度～令和 38（2056）年度までの 36 年間

1.4 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理方針の対象施設のうち、表1-1に示すとおりです。

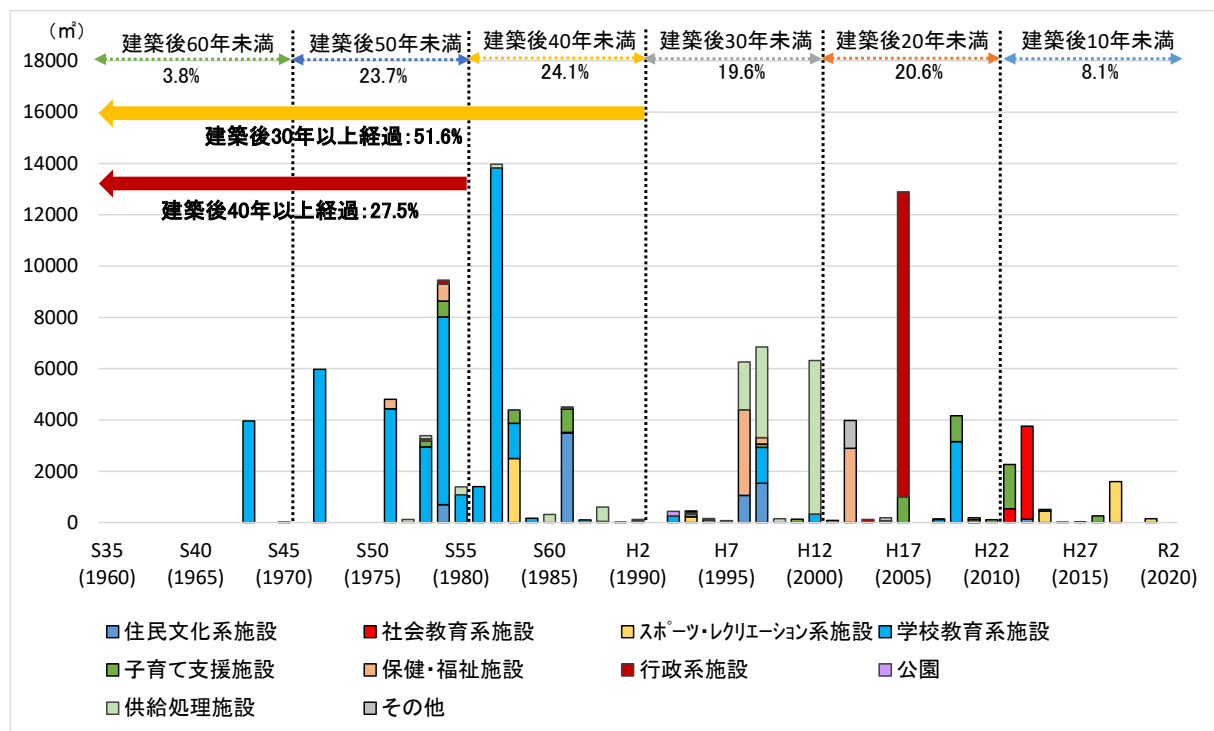
表 1-1 対象施設一覧

大分類	中分類	所管課	施設名
住民文化系施設	集会施設	生涯学習課	函南町立間宮地区公民館
			函南町西部コミュニティセンター
			函南町立間宮地区公民館(管理人住宅)
			函南町農村環境改善センター
	文化施設	生涯学習課	函南町文化センター 丹那断層公園
社会教育系施設	図書館	生涯学習課	函南町図書館等複合施設
	博物館等	生涯学習課	かななみ仏の里美術館
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	生涯学習課	肥田簡易グラウンド 函南町体育館 函南運動公園
			函南町立木立キャンプ場
			道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」 川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」
	レクリエーション施設・観光施設	生涯学習課	
		産業振興課	
学校教育施設	学校	学校教育課	函南小学校 丹那小学校 桑村小学校 東小学校 西小学校 函南中学校 東中学校
子育て支援施設	幼稚園・保育園等	子育て支援課	春光幼稚園 丹那幼稚園 二葉幼稚園 間宮幼稚園 みのり幼稚園 自由ヶ丘幼稚園 西部保育園 函南町東部第1留守家庭児童保育所 函南町東部第2留守家庭児童保育所 函南町東部第3留守家庭児童保育所 函南町西部第1留守家庭児童保育所 函南町西部第2留守家庭児童保育所 函南町中部第1留守家庭児童保育所 函南町中部第2留守家庭児童保育所 函南町北部留守家庭児童保育所
保健・福祉施設	保健福祉施設	健康づくり課	函南町保健福祉センター 函南町ふれあいセンター 湯〜トピアかななみ
	高齢者関係施設	福祉課	函南町老人いこいの家
	障害福祉施設	福祉課	函南町わかさ共同作業所
行政系施設	庁舎等	管財課	函南町役場
	消防施設	総務課	第1分団詰所 第2分団丹那詰所 第2分団軽井沢詰所 第3分団詰所 第5分団詰所 第6分団詰所
公園	公園	管財課	日守山公園駐車場 柏谷公園 仁田さくら公園 函南原生の森 間宮児童公園 間宮川向公園
供給処理施設	供給処理施設	産業振興課	落合排水機場 塚本排水機場 新田排水機場 畑毛排水機場 稲妻排水機場 新田揚水機場
		上下水道課	蛇ヶ橋ポンプ場
		環境衛生課	函南町ごみ焼却場
		産業振興課	函南町堆肥生産プラント
		環境衛生課	函南町し尿処理場 一般廃棄物最終処分場汚水処理施設
		上下水道課	函南町農業集落排水処理施設
その他	その他	管財課	函南町営駐車場
		企画財政課	伊豆仁田駅前防犯立寄所
		健康づくり課	柏谷温泉源泉地
		産業振興課	畑毛温泉入口バストイレ 桑原薬師堂一般公開トイレ

1.5 施設の状況

本計画の対象施設の状況をみると、建築後 30 年以上経過している建築物が約 51.6%を占めており、建築後 40 年以上経過している建築物は約 27.5%となっています。

特に、函南小学校の校舎は建築後 50 年以上経過しています。



出典：町資料（令和 2（2020）年度現在）

図 1-2 対象施設の建築年度別整備状況（延床面積ベース）

2. 劣化状況調査及び劣化度評価

2.1 劣化状況調査

(1) 劣化状況調査の概要

劣化状況調査は、劣化状況調査マニュアルに基づき、下表に示す項目について、令和元年12月～令和2年3月の期間に目視により実施しています。

※劣化状況調査結果の詳細は、別途「劣化状況調査結果報告書」にとりまとめています。

表 2-1 劣化状況調査の主な調査項目

部位・設備	主な調査項目
構造部	ひび割れ、さび汁、白華、鉄筋露出、欠損等
建築部位	
屋根・屋上	屋上床面のひび割れ・浮き・剥離・摩耗等、目地・シーリング材の損傷等、排水溝・排水口・雨樋のつまり等
外壁	外壁仕上げ材の剥落・白華・ひび割れ・浮き・さび・変形等、目地・シーリング材の損傷等
内部	天井・壁の漏水跡、天井・壁・床の仕上げ材の浮き・たわみ・ひび割れ・剥落・損傷等
機械設備	給排水設備、空調・換気設備、衛生設備、消防設備の不具合等
電気設備	受変電設備、照明器具の不具合等

(2) 劣化状況調査の対象建築物

劣化状況調査の対象建築物は、基本的に延床面積 200 ㎡以上かつ築年数 20 年以上としています。必要に応じて対象を追加しています。今回、劣化状況調査を実施した建築物（71 棟）は、下表に示すとおりです。

表 2-2 劣化状況調査の対象建築物

大分類	施設名称	建物 番号	建物名称	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	調査 対象
住民文化系施設	函南町立間宮地区公民館	1	公民館	654.9	1979	●
	函南町西部コミュニティセンター	1	集会場①	1,308.4	1997	●
		2	集会場②	220.5	1997	●
		3	駐輪場	6.9	1997	対象外
	函南町立間宮地区公民館(管理人住宅)	1	管理人住宅	44.7	1979	対象外
	函南町農村環境改善センター	1	農村環境改善センター	1,057.0	1996	●
		2	LPガスボンベ庫	6.0	1996	対象外
	函南町文化センター	1	函南町文化センター	3,489.6	1986	●
		2	車庫	136.5	2012	対象外
社会教育系施設	函南町図書館等複合施設	1	函南町立図書館	1,820.0	2012	対象外
		2	函南町子育てふれあい地域交流センタ	982.6	2012	対象外
		3	ウッドデッキ	791.0	2012	対象外
		4	機械室	33.7	2012	対象外
	かななみ仏の里美術館	1	かななみ仏の里美術館	182.3	2011	対象外
		2	管理棟	254.4	2011	対象外
		3	資料館棟	108.2	2011	対象外
スポーツ・レクリエーション系施設	函南町体育館	1	体育館	2,501.0	1983	●
	函南運動公園	1	事務所	449.6	2013	対象外
	函南町立木立キャンプ場	1	管理棟	158.5	1993	●
		2	便所・洗面所棟	24.5	1993	対象外
		3	炊飯棟	44.1	1993	対象外
	道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	1	道の駅建屋（北側敷地）	1,395.4	2017	対象外
		2	道の駅防災倉庫（南側敷地）	208.0	2017	対象外
	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	1	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	149.4	2019	対象外
		1	肥田簡易グラウンド	5.6	2003	対象外
		2	仮設倉庫	15.1	2003	対象外
学校教育系施設	函南小学校	1	校舎（北側）①	995.0	1968	●
		2	校舎（北側）②	2,966.0	1968	●
		3	校舎（増築）	678.4	1982	●
		4	屋内運動場	1,056.4	1980	●
		5	給食棟	336.7	1979	●
		6	渡り廊下	50.9	1982	対象外
		7	校舎増築（印刷室）	22.0	1983	対象外
		8	水泳プール管理棟	55.1	1987	対象外
		9	昇降口	34.0	1980	対象外
		10	体育器具庫	97.4	1978	対象外
		11	オイルタンク庫	7.8	1979	対象外
		12	ボイラー庫	5.7	1979	対象外
		13	便所	17.0	1970	対象外
	丹那小学校	1	校舎	1,597.0	1978	●
		2	屋内運動場	549.0	1978	●
		3	給食棟	337.0	2000	●
		4	校舎増築（図工室）	65.5	1984	対象外
		5	プール更衣室	66.4	1984	対象外
		6	倉庫	48.6	1978	対象外
		7	倉庫（増築）	58.3	1979	対象外
		8	便所①	8.0	1978	対象外
		9	便所②	23.0	2015	対象外

大分類	施設名称	建物 番号	建物名称	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	調査 対象
	桑村小学校	1	校舎	2,536.2	1982	●
		2	屋内運動場	698.0	1982	●
		3	給食棟①	158.2	1982	●
		4	給食棟②	3.4	2009	対象外
		5	渡り廊下	96.2	1982	対象外
		6	体育器具庫	79.6	1982	対象外
		7	プール附属棟	49.0	1982	対象外
		8	ボンベ庫	6.0	1982	対象外
		9	外便所	14.4	1982	対象外
	東小学校	1	校舎（A棟）	2,447.0	1976	●
		2	校舎（B棟）	1,720.0	1976	●
		3	校舎（B棟増築）①	654.2	1978	●
		4	校舎（B棟増築）②	611.6	1982	●
		5	屋内運動場	1,042.0	1979	●
		6	給食棟	212.5	1976	●
		7	体育器具庫	40.4	1976	対象外
		8	自転車置場	8.6	1976	対象外
		9	屋内タンク貯蔵所	6.1	1976	対象外
		10	屋外便所①	34.0	2013	対象外
		11	屋外便所②	32.7	2013	対象外
	西小学校	1	校舎A棟	2,257.7	1979	●
		2	校舎B棟	1,905.9	1979	●
		3	校舎C棟	1,425.8	1979	●
		4	屋内運動場	1,032.5	1981	●
		5	給食棟	265.6	1979	●
		6	更衣室棟	80.0	2007	対象外
		7	監視小屋	31.6	2007	対象外
		8	オイルタンク庫	2.4	1979	対象外
		9	ガスボンベ庫	5.9	1979	対象外
		10	雑庫	24.4	1988	対象外
		11	ボンベ庫	1.7	2007	対象外
		12	物置	16.0	2007	対象外
		13	体育器具庫	55.0	1983	対象外
		14	屋外便所	17.0	1983	対象外
	函南中学校	1	北側普通教室棟①	1,569.0	1972	●
		2	北側普通教室棟②	1,344.0	1972	●
		3	南側特別教室棟①	2,434.6	1972	●
		4	南側特別教室棟②	39.5	1984	対象外
		5	屋内運動場	3,067.8	2008	●
		6	函中技術科棟	650.0	1983	●
		7	函中技術科棟付属建物	6.8	1983	対象外
		8	生徒会室	265.5	1992	●
		9	給食棟①	609.1	1997	●
		10	給食棟②	16.0	2014	対象外
		11	昇降口通路	626.0	1972	●
		12	体育部室	289.0	1981	●
		13	体育器具室①	86.0	1981	対象外
		14	函南中学校プール管理棟	619.8	1983	●
		15	南側特別教室増築印刷室	26.0	1986	対象外
		16	体育器具室②	54.0	1987	対象外
		17	函南中学校部活用倉庫	26.2	1988	対象外
		18	渡り廊下	51.5	2008	対象外
		19	物置	36.0	2008	対象外
		20	プロパン庫	14.9	1997	対象外
		21	ボイラー庫	8.4	1997	対象外
	東中学校	1	校舎	5,697.2	1982	●
		2	体育館・技術科棟	2,836.9	1982	●
		3	給食棟	625.3	1997	●
		4	配膳室棟	121.4	1997	対象外
		5	体育器具庫	91.0	1982	対象外
		6	部室	162.0	1982	●
		7	ポンプ室	27.2	1982	対象外
		8	プロパン庫	14.9	1997	対象外
		9	ボイラー庫	8.4	1997	対象外
		10	便所	34.0	1982	対象外

大分類	施設名称	建物 番号	建物名称	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	調査 対象
子育て支援施設	春光幼稚園	1	園舎	975.1	2005	●
		2	屋外倉庫	22.2	2005	対象外
	丹那幼稚園	1	園舎	218.8	1978	●
		2	物置	14.6	1978	対象外
	二葉幼稚園	1	園舎	622.5	1979	●
		2	保育室	71.8	2001	対象外
		3	倉庫	10.0	2001	対象外
	間宮幼稚園	1	園舎	506.2	1983	●
		2	幼稚園	122.5	1997	対象外
	みのり幼稚園	1	園舎	991.6	2008	対象外
	自由ヶ丘幼稚園	1	園舎	920.0	1986	●
		2	幼稚園	132.2	1999	●
		3	トイレ	10.0	2001	対象外
	西部保育園	1	園舎	1,385.1	2011	対象外
		2	ゴミ置場	2.2	2011	対象外
		3	ボンベ庫	2.3	2011	対象外
		4	屋外便所	8.1	2011	対象外
		5	物置①	4.1	2011	対象外
		6	物置②	4.1	2011	対象外
		7	物置③	4.1	2011	対象外
		8	物置④	4.1	2011	対象外
		9	物置⑤	4.1	2011	対象外
		10	園舎（増築部分）	150.3	2016	対象外
	函南町東部第1留守家庭児童保育所	1	学童保育所	135.4	2011	対象外
	函南町東部第2留守家庭児童保育所	1	学童保育所	115.0	2011	対象外
		2	倉庫	57.9	2011	対象外
	函南町東部第3留守家庭児童保育所	1	学童保育所	113.4	2016	対象外
	函南町西部第1留守家庭児童保育所	1	学童保育所	109.9	1993	対象外
	函南町西部第2留守家庭児童保育所	1	学童保育所	115.0	2009	対象外
		2	倉庫	24.1	2008	対象外
	函南町中部第1留守家庭児童保育所	1	学童保育所	109.3	1994	対象外
	函南町中部第2留守家庭児童保育所	1	学童保育所	115.0	2010	対象外
	函南町北部留守家庭児童保育所	1	学童保育所	81.5	2004	対象外
保健・福祉施設	函南町保健福祉センター	1	福祉保健施設	3,268.8	1996	●
		2	設備棟	70.2	1996	対象外
	函南町ふれあいセンター	1	保健センター①	601.5	1979	●
		2	保健センター②	16.7	1986	対象外
		3	保健センター③	9.0	1989	対象外
		4	倉庫及びガレージ	62.5	1979	対象外
	湯～トピアかなみ	1	湯～トピアかなみ	2,897.8	2002	●
	函南町老人いこいの家	1	いこいの家	376.5	1976	●
	函南町わかくさ共同作業所	1	小規模作業施設	255.9	1997	●
		2	調理棟	42.4	2009	対象外
		3	直売棟	9.7	2009	対象外
		4	物置①	7.8	2009	対象外
		5	物置②	2.9	2009	対象外
		6	物置③	9.9	2009	対象外
行政系施設	函南町役場	1	函南町役場庁舎	10,705.2	2005	●
		2	外部建家	148.5	2005	対象外
		3	B棟倉庫	40.5	2005	対象外
		4	C棟	50.0	2005	対象外
		5	D棟	135.0	2005	対象外
		6	E棟	93.0	2005	対象外
		7	F棟	54.0	2005	対象外
		8	G1棟	121.5	2005	対象外
		9	G2棟	121.5	2005	対象外
		10	G3棟	119.1	2005	対象外
		11	G4棟	119.1	2005	対象外
		12	H1棟	81.0	2005	対象外
		13	H2棟	81.0	2005	対象外
		14	駐輪場1	14.4	2005	対象外
		15	駐輪場2	14.4	2005	対象外

大分類	施設名称	建物 番号	建物名称	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	調査 対象
	第1分団詰所	1	車庫及び詰所	77.5	1978	対象外
	第2分団丹那詰所	1	車庫及び詰所	73.7	1979	対象外
	第2分団軽井沢詰所	1	車庫及び詰所	48.4	1994	対象外
	第3分団詰所	1	車庫及び詰所	107.5	2003	対象外
	第5分団詰所	1	車庫及び詰所	82.3	1979	対象外
	第6分団詰所	1	消防車庫	74.5	1993	対象外
公園	函南町原生の森	1	管理棟	69.4	1990	対象外
	丹那断層公園	1	丹那断層トイレ	46.4	1995	対象外
	日守山公園駐車場	1	トイレ	19.7	1995	対象外
	柏谷公園	1	トイレ①	33.5	1992	対象外
		2	バーグラ棟	23.8	1992	対象外
		3	トイレ②	50.3	1992	対象外
		4	倉庫棟	68.0	1992	対象外
	仁田さくら公園	1	トイレ	15.6	1993	対象外
	間宮児童公園	1	トイレ	4.0	1983	対象外
	間宮川向公園	1	トイレ	3.3	1990	対象外
供給処理施設	落合排水機場	1	機場	302.8	1980	●
	塚本排水機場	1	機場	121.6	1978	対象外
	新田排水機場	1	機場①	121.6	1977	対象外
		2	機場②	48.0	1990	対象外
	畑毛排水機場	1	機場	145.6	1982	対象外
	稲妻排水機場	1	機場	246.1	1997	●
	新田揚水機場	1	揚水機場	10.8	1995	対象外
	蛇ヶ橋ポンプ場	1	機場	553.4	1988	●
	函南町ごみ焼却場	1	工場棟	4,887.4	2000	●
		2	管理棟	693.5	2000	●
		3	付属棟①	397.5	2000	●
		4	付属棟②	111.0	2004	対象外
	函南町堆肥生産プラント	1	堆肥舎①	845.0	1996	●
		2	堆肥舎②	845.0	1996	●
		3	堆肥舎③	174.0	1996	対象外
		4	堆肥舎④	800.0	1997	●
		5	堆肥舎⑤	468.0	1997	●
		6	堆肥舎⑥	845.0	1997	●
		7	堆肥舎⑦	844.2	1997	●
		8	堆肥製品倉庫	286.1	1997	●
		9	事務所	40.8	1997	対象外
	函南町し尿処理場	1	管理棟	82.0	1985	●
		2	機械室棟	192.8	1985	●
		3	車庫棟	45.5	1985	●
	一般廃棄物最終処分場汚水処理施設	1	機械室	58.7	1986	対象外
	函南町農業集落排水処理施設	1	農村集落排水処理場	150.1	1998	対象外
その他	函南町営立体駐車場	1	函南町営立体駐車場	1,079.6	2002	対象外
	伊豆仁田駅前防犯立寄所	1	防犯立寄所	5.0	2002	対象外
	柏谷温泉源泉地	1	温泉スタンド	-	-	対象外
	畑毛温泉入口バス停トイレ	1	バス停トイレ	24.2	1993	対象外
	桑原薬師堂一般公開用トイレ	1	公衆便所	2.6	2007	対象外

2.2 劣化度評価

(1) 劣化度評価の方法

劣化度評価の方法は、劣化状況調査項目を下表のような評価基準に基づき評価しています。

表 2-3 部位別修繕等の優先度

評価	基準	修繕等の優先度
A	おおむね良好	低
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	普通
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	優先
D	早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）等	最優先

(2) 劣化状況の実態

現地での目視調査により評価している「屋根・屋上、外壁」について、「B、C、D」と評価した部位の劣化状況の一例を示します。

	B	C	D
屋根・屋上	 函南町役場（役場庁舎） 塗布防水剥離・劣化一部	 丹那小学校（校舎） 塗布防水剥離・劣化各所	
外壁	 西部コミュニティセンター（集会場①） クラック	 ごみ焼却場（工場棟） 塗装剥離・クラック	 函南中学校（体育部室） パネル 発錆、変形

(3) 劣化度評価の結果

劣化度評価の結果は、下表に示すとおりです。

表 2-4 各施設・棟の部位別劣化評価

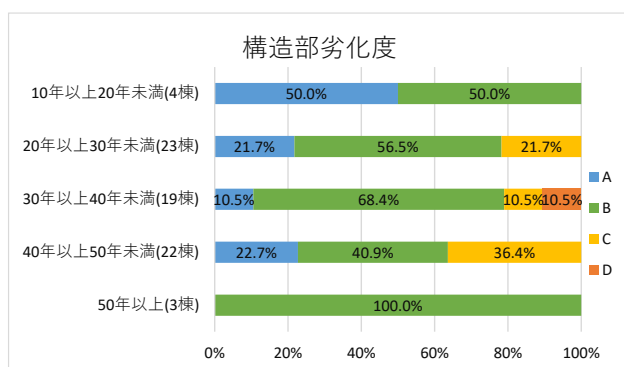
施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 劣化度 評価点
函南町立間宮地区公民館	公民館	RC造	654.92	1979	C	C	C	D	C	C	350
函南町西部コミュニティセンター	集会場①	RC造	1308.36	1997	B	B	B	C	C	B	661
	集会場②	S造	220.51	1997	A	A	B	C	B	B	796
函南町農村環境改善センター	農村環境改善センター	RC造	1057.01	1996	A	C	B	C	B	B	674
函南町文化センター	函南町文化センター	S造	3489.62	1986	B	B	B	D	B	B	644
函南町体育館	体育館	SRC造	2501	1983	B	C	C	B	B	B	563
函南町立木立キャンプ場	管理棟	W造	158.5	1993	B	C	B	B	D	D	523
湯へトピアかんなみ	湯へトピアかんなみ	RC造	2897.77	2002	B	B	B	B	B	B	741
函南小学校	校舎(北側)①	RC造	995	1968	B	B	B	D	D	C	510
	校舎(北側)②	RC造	2966	1968	B	B	B	D	D	C	510
	校舎(増築)	RC造	678.38	1982	A	B	A	C	B	C	731
	屋内運動場	S造	1056.4	1980	B	B	B	D	B	C	597
	給食棟	S造	336.71	1979	B	B	B	D	C	C	560
丹那小学校	校舎	RC造	1597	1978	B	C	B	C	D	B	523
	屋内運動場	S造	549	1978	B	B	B	B	B	B	693
	給食棟	RC造	336.98	2000	B	B	B	D	C	B	637
桑村小学校	校舎	RC造	2536.19	1982	B	B	B	C	B	C	631
	屋内運動場	S造	698	1982	A	B	B	C	B	C	681
	給食棟①	S造	158.17	1982	B	B	B	C	B	B	666
東小学校	校舎(A棟)	RC造	2447.02	1976	B	C	C	C	C	D	414
	校舎(B棟)	RC造	1719.97	1976	C	B	B	C	C	D	484
	校舎(B棟増築)①	RC造	654.16	1978	C	B	B	C	C	D	488
	校舎(B棟増築)②	RC造	611.64	1982	C	B	B	C	C	D	496
	屋内運動場	S造	1042	1979	B	C	C	D	B	D	425
	給食棟	S造	212.53	1976	C	C	C	D	C	C	314
西小学校	校舎A棟	RC造	2257.66	1979	C	B	B	D	D	D	430
	校舎B棟	RC造	1905.85	1979	C	B	B	D	D	C	460
	校舎C棟	RC造	1425.83	1979	C	B	B	D	C	D	460
	屋内運動場	S造	1032.48	1981	B	B	B	C	B	C	534
	給食棟	S造	265.57	1979	B	B	B	D	D	D	500
函南中学校	北側普通教室棟①	RC造	1569	1972	A	B	A	B	C	D	681
	北側普通教室棟②	RC造	1344	1972	A	B	A	B	C	D	681
	南側特別教室棟①	RC造	2434.55	1972	A	B	A	B	C	C	711
	屋内運動場	S造	3067.79	2008	A	A	C	D	D	D	588
	函中技術科棟	S造	650	1983	B	B	C	C	C	C	528
	生徒会室	S造	265.5	1992	A	B	B	C	B	B	736
	給食棟①	S造	609.12	1997	A	A	B	C	B	B	796
	昇降口通路	RC造	626	1972	A	B	A	B	C	C	711
	体育部室	S造	289	1981	D	D	D	C	B	C	239
東中学校	函南中学校プール管理棟	S造	619.8	1983	B	A	B	C	C	C	648
	校舎	S造	5697.24	1982	B	B	B	C	C	C	596
	体育館・技術科棟	S造	2836.9	1982	B	B	B	C	B	C	631
	給食棟	S造	625.32	1997	A	A	B	C	C	B	761
	部室	S造	162	1982	B	C	C	C	—	B	526

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 劣化度 評価点
春光幼稚園	園舎	S造	975.12	2005	A	C	B	B	B	A	752
丹那幼稚園	園舎	S造	218.75	1978	A	B	B	D	D	C	578
二葉幼稚園	園舎	S造	622.52	1979	B	B	C	B	D	B	560
間宮幼稚園	園舎	S造	506.24	1983	B	B	C	C	B	B	604
自由ヶ丘幼稚園	園舎	S造	920	1986	B	C	B	B	B	B	665
	幼稚園	S造	132.17	1999	B	B	B	B	A	B	754
函南町保健福祉センター	福祉保健施設	RC造	3268.83	1996	B	B	B	C	C	C	624
函南町ふれあいセンター	保健センター①	S造	601.5	1979	B	B	B	D	D	D	482
函南町老人いきいの家	いきいの家	S造	376.47	1976	C	C	C	D	D	D	284
函南町わかくさ共同作業所	小規模授産所	S造	255.86	1997	B	B	C	B	D	B	596
函南町役場	函南町役場庁舎	SRC造	10705.18	2005	B	B	B	B	C	C	677
落合排水機場	機場	RC造	302.79	1980	B	B	B	D	D	C	532
稲妻排水機場	機場	RC造	246.14	1997	B	B	B	C	B	B	696
蛇ヶ橋ポンプ場	機場	RC造	553.41	1988	D	D	C	C	B	D	281
函南町ごみ焼却場	工場棟	RC造	4887.42	2000	C	C	C	C	C	D	392
	管理棟	S造	693.52	2000	B	B	B	B	D	D	607
	付属棟①	S造	397.51	2000	B	C	C	C	C	B	527
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎①	W造	845	1996	C	B	C	—	C	C	519
	堆肥舎②	W造	845	1996	C	B	C	—	C	C	519
	堆肥舎④	W造	800	1997	B	B	B	D	B	C	631
	堆肥舎⑤	W造	468	1997	B	B	B	D	B	C	631
	堆肥舎⑥	W造	845	1997	C	B	C	—	B	C	556
	堆肥舎⑦	W造	844.2	1997	C	B	C	—	B	C	556
	堆肥製品倉庫	S造	286.11	1997	B	B	A	C	C	C	676
函南町し尿処理場	管理棟	RC造	81.98	1985	C	C	C	C	C	C	330
	機械室棟	RC造	192.84	1985	B	C	C	C	D	C	370
	車庫棟	S造	45.5	1985	B	C	B	B	B	C	600

(4) 劣化状況の特性

部位別の劣化度評価について、経過年数別の傾向は、下記に示すとおりです。

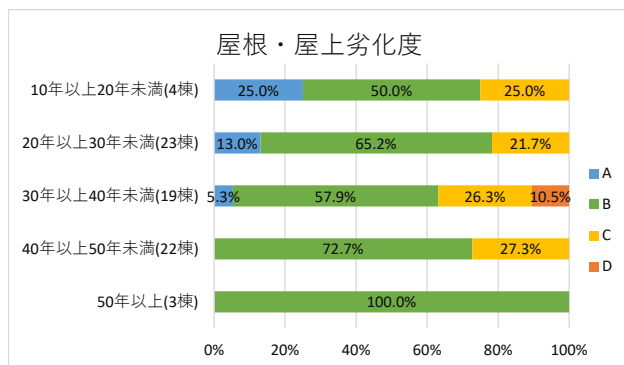
○ 構造部



構造部（柱、梁、壁・床、基礎）については、おおむね劣化度 B となっています。

築 40 年以上 50 年未満では、劣化度 C が 36.4% となっています。

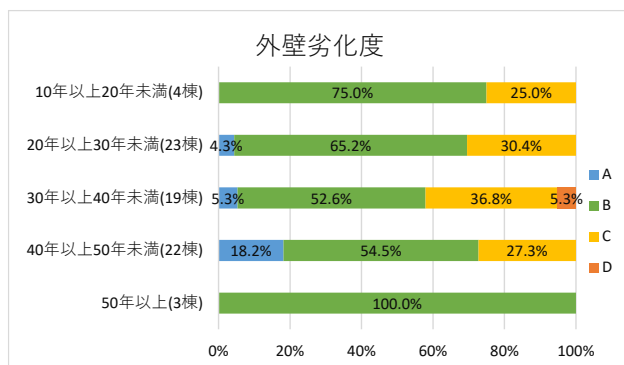
○屋根・屋上



屋根・屋上については、おおむね劣化度 B となっています。

築 30 年以上 40 年未満では劣化度 C が 26.3%、劣化度 D が 10.5%、築 40 年以上 50 年未満では劣化度 C が 27.3%となっています。

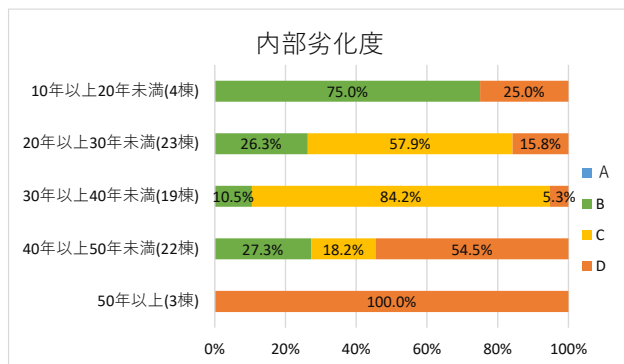
○外壁



外壁については、おおむね劣化度 B となっています。

築 30 年以上 40 年未満では劣化度 C が 36.8%、劣化度 D が 5.3%、築 40 年以上 50 年未満では劣化度 C が 27.3%となっています。

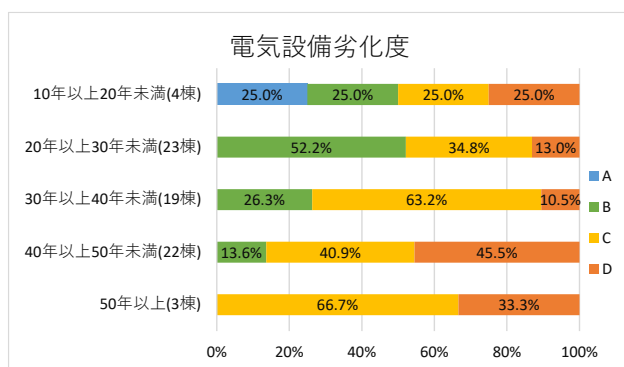
○内部



内部（天井、床、壁等）については、築 40 年を境に劣化が進行する傾向にあります。

築 40 年以上～50 年未満の 7 割以上が劣化度 C 以下で、築 50 年以上では全ての棟が劣化度 D となっています。

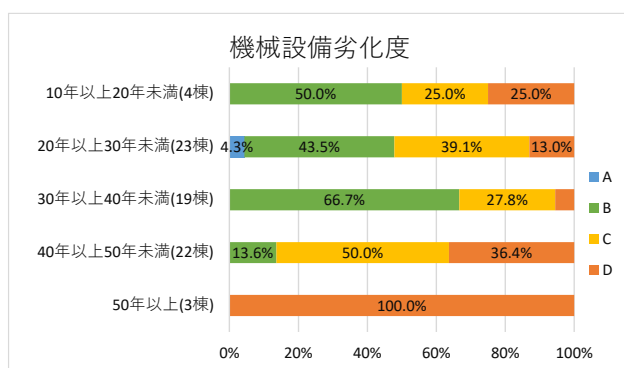
○電気設備



電気設備については、築40年を境に劣化が進行する傾向にあります。

築40年以上～50年未満の8割以上が劣化度C以下で、築50年以上では全ての棟が劣化度C以下となっています。

○機械設備



機械設備については、築40年を境に劣化が進行する傾向にあります。

築40年以上～50年未満の8割以上が劣化度C以下で、築50年以上では全ての棟が劣化度Dとなっています。

（５）劣化度評価の状況

総合評価点の状況は図２－１に示すとおりであり、築年数の経過とともに、建築物の劣化が進行するため総合評価点が低くなる傾向にあります。

総合評価点の低い建築物は、比較的古くて、修繕等が十分に行われておらず、劣化が進行していることから、優先的に修繕や更新等を行うなどの対策が必要です。

また、総合評価点の高い建築物の多くは、新しい建築物もしくは大規模改修等を実施した建築物等であり、これらについては、今後も安全に長期利用ができるように取り組んでいく必要があります。

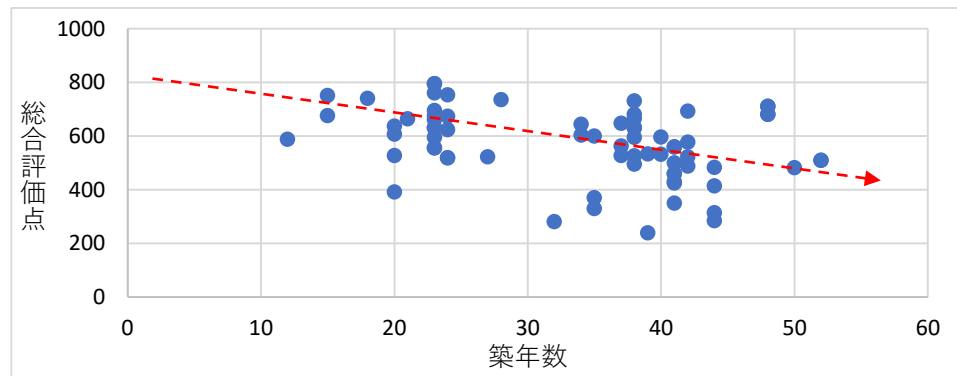


図 ２－１ 築年数と総合評価点の分布状況

※総合評価点とは、劣化状況について、1000 点を満点とし、劣化が進んでいるほど点数が低く算出される評価

3. 個別施設計画の基本的な方針等

3.1 個別施設計画の基本方針

総合管理方針の基本方針を踏まえ、本計画の基本方針を以下のとおり定めます。

【総合管理方針の基本方針】

① 施設の規模や配置の適正化

将来のまちづくりを見据え、地域特性、住民ニーズ、財政事情などを勘案し、必要となる公共サービスを確保し、施設の規模や配置の適正化に努めます。なお、公共施設については、原則、総合計画に位置づけられたもの以外、新規整備を行わないものとし、保有量の縮減に努めます。

② コストの縮減と財源確保

民間活力の導入、省エネルギー対策、未利用財産の処分、受益者負担の適正化などの様々な取組により、施設の維持管理や運営にかかるコストの縮減と財源の確保に努めます。

③ 計画的な施設の保全

予防保全型の計画的な維持管理により、施設の安全性や性能を確保するとともに、更新や改修にかかる費用を抑制・平準化し、財政負担の軽減に努めます。

基本方針 1 長寿命化の推進

構造躯体の劣化が著しい場合や改築した場合と比較して長寿命化の費用対効果が低い場合、政策的な判断により長寿命化をしない場合等を除き、原則として長寿命化を図ります。また、用途を廃止する公共施設であっても、建築物自体の劣化が少なく、費用対効果が高いと考えられる場合は、用途転換を検討し、建築物の有効活用を図ります。

基本方針 2 予防保全型の維持管理

日常点検、定期点検の点検結果を踏まえて必要となる修繕や更新等を実施することにより、建築物の耐久性を確保するとともに、突発的な故障や不具合等を未然に防止し、安定した使用、安全の確保のための予防保全型の維持管理に取り組みます。

基本方針 3 財政負担の低減・平準化

施設の劣化の状況を的確に把握し、優先順位を定め、計画的かつ効率的な修繕や更新等を実施することで、修繕・更新等費用の低減及び平準化を図ります。

3.2 長寿命化の方針

(1) 目標使用年数

躯体の構造別耐用年数は、表 3-1 に示すとおり、各種法令等で異なります。

表 3-1 各種法令等による躯体構造別の耐用年数

記号	建物構造	1. 建築物の耐久計画	2. 建築工事標準仕様書	3. 減価償却	4. 学校施設財産処分	5. 都市再開発法
S R C C	鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	60	65	事務所用 50 住宅用・学校用 47	H12 年以前 60 H13 年以降 47	事務所 図書館等 50 住宅 学校等 47
S	鉄骨造	重量鉄骨 (肉厚 6 mm 以上) 60 軽量鉄骨 (肉厚 6 mm 未満) 40		(肉厚 4 mm 超) 事務所用 38 住宅用・学校用 34 (肉厚 3 mm 超) 事務所用 30 住宅用・学校用 27 (肉厚 3 mm 以下) 事務所用 22 住宅用・学校用 19	H12 年以前 40 H13 年以降 34	事務所 図書館等 38 住宅 学校等 34
W	木造	学校 官庁 60		事務所用 24 住宅用・学校用 22	H12 年以前 24 H13 年以降 22	

1. 建築物の耐久計画：建築物の耐久計画に関する考え方（1988 年 10 月 日本建築学会）
2. 建築工事標準仕様書：建築工事標準仕様書（JASS5 鉄筋コンクリート工事 2009 年 日本建築学会）
3. 減価償却：減価償却資産の耐用年数に関する省令（改正：平成 30 年 3 月 31 日 財務省令第 31 号）
4. 学校施設財産処分：学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」（平成 25 年 3 月 文部科学省）
5. 都市再開発法：都市再開発法施行令（改正：平成 30 年 6 月 6 日 政令第 183 号）

本計画では、各種法令等を踏まえて標準使用年数を、「鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造」は 60 年、「鉄骨造」は 45 年、「木造、その他」は 30 年と定めます。さらに予防保全による長期使用期間の目安として「目標使用年数」を表 3-2 に示すとおり設定します。

なお、建築物の個別の劣化状況や機能劣化への対応状況等に対する費用対効果などを総合的に判断した上で、目標使用年数に満たなくても改築等を行うことも可能とします。

表 3-2 本計画における標準使用年数と目標使用年数

建築物の構造	標準使用年数	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	60 年	80 年
鉄骨造	45 年	65 年
木造、その他	30 年	40 年

※「建築物の耐久計画に関する考え方」（社団法人日本建築学会）によると、鉄筋コンクリート造の場合、望ましい目標耐用年数の範囲は 50～80 年とされており、計画的な保全を行うことにより 80 年程度まで使用できると考えられます。

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月 文部科学省）によると、鉄筋コンクリート造の物理的な耐用年数は、適切な維持管理（計画的な修繕等の実施）がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70 年～80 年程度持たせるような長寿命化が可能とされています。

※以上のことから、鉄筋コンクリート造の目標使用年数を 80 年と設定します。

(2) 建築物の保全区分

建築物の保全については、部位別に修繕・更新周期を設定し計画的に修繕・更新等を実施する「予防保全を図る建築物」と、従来どおりの対処療法型の修繕・更新等を実施する「事後保全を基本とする建築物」に区分します。

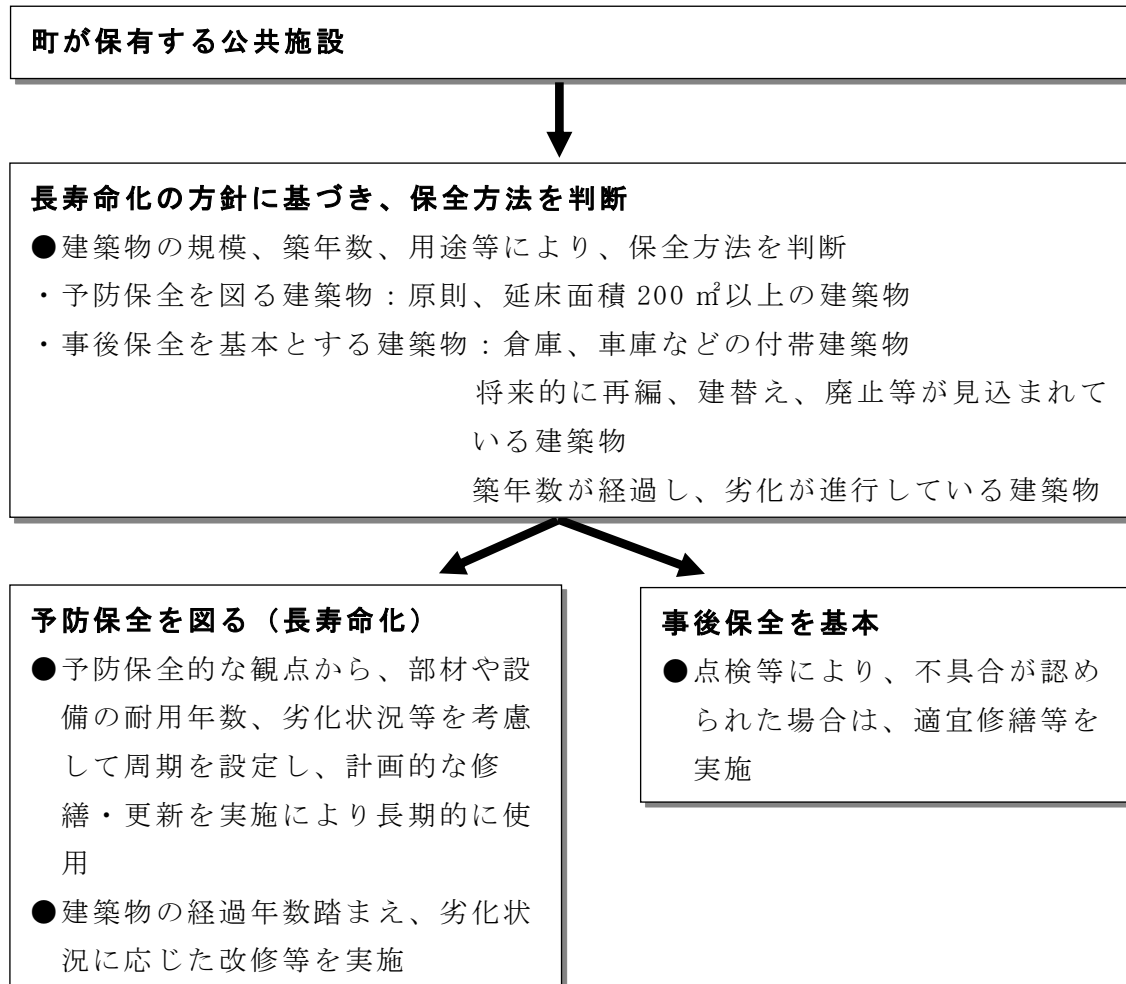


図 3-1 建築物の保全方法の分類のイメージ

(3) 保全の方針

① 部位別の修繕・更新の実施

予防保全を図る建築物については、長期的に安全で快適に使用するため、部位・設備の修繕・更新周期を設定し、計画的に行うことで劣化に対処するとともに、更新時には、社会的な要求レベルの変化に対応して建築物の性能の向上を図ります。

修繕・更新周期については、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（建築保全センター編集発行）」の周期を参考に計画的に実施していきます。

ただし、日常的な点検や劣化度評価により、劣化が進行している場合は、優先的に更新等を実施します。

表 3-3 部位別の修繕・更新時期

部位・設備	主な内容	おおむねの周期	
		修繕	更新
構造部	モルタル改修、コンクリートの中性化等	躯体の状況に応じて実施	
屋根・屋上	防水工事 等	5～20 年	25～40 年
外壁	外壁塗装、コンクリート補修、シーリング 等	10～20 年	20～50 年
外部建具	窓・扉等の部品交換、シーリング取替え等	5～20 年	30～40 年
内部	クロスの張替え、ボード破損修繕 等	劣化に応じて適宜更新	
電気設備	受変電、発電・静止形電源、通信・情報 等	5～15 年	10～30 年
機械設備	空調、換気、給排水衛生、消火 等	3～15 年	15～30 年

資料：平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）を参考に作成

（４）施設整備の水準

改修等の実施にあたっては、躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建築物の建設当初の水準に戻すだけでなく、耐久性に優れた仕上げ材への取替えや耐震対策、防災機能の強化、省エネルギー化、バリアフリー化等の性能の向上といった現在の社会的ニーズに対応するため、基本的性能の向上も図ります。

公共施設に求められる基本的性能は、下表に示すとおりです。

表 3-4 公共施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	耐震性、防災性、機能維持性、防犯性
機能性	利便性、ユニバーサルデザイン、室内環境性、情報化対応性
経済性	耐用性、保全性
社会性	地域性、景観性
環境保全性	環境負荷低減性、周辺環境保全性

これから整備される公共施設については、企画段階からあらかじめ長寿命化に必要な性能を備えた部位・部材及び設備を採用することとします。また、既存建築物の改修等においては、適用可能な設計を選択して採用することとします。

長寿命化の設計に関する重点事項及び部位・部材の標準水準は、下表に示すとおりです。

表 3-5 長寿命化の重点事項

性能	内容
可変性	階高を高くするなど、将来の用途変更へ対応が可能なプランとします。
更新性	改修工事の際の工事費を抑制するため、躯体と設備を分離するなど、設備の更新が容易な構造とします。
耐久性	各部材について、ライフサイクルコストが最適でかつ耐久性の高いものを選択します。
メンテナンス性	清掃や点検、修繕等の維持管理業務を効率的に実施可能な設計とします。
省エネルギー性	自然エネルギーの活用、環境負荷の低減など、省エネルギー対応の設計とします。

表 3-6 部位・部材別標準水準

部位・部材		内容
構造体	躯体	耐用年数 80 年を想定したものを使用します。
	防水、外壁	防水性能が劣化し、漏水することで構造躯体が劣化するため、耐久性に優れた素材を使用します。
内装、設備		劣化にかかる改修、修繕や用途変更が容易に実施できるように可能な限り標準品・汎用品を使用します。
ユニバーサルデザイン		エレベーター、スロープ、多目的トイレ等のバリアフリーに配慮した設備、また、自動ドアや絵文字(ピクトグラム)、センサー式蛇口などユニバーサルデザインに配慮した設備を設置します。
環境負荷の低減（省エネルギー対応）		太陽光発電、LED 照明、高断熱・高气密化等の省エネルギー化に対応した設備を設置します。

4. 修繕・更新等費用の見通し

4.1 算定条件

(1) 算定対象建築物

以下の条件を満たす建築物を対象に算定します。

- ・ 予防保全を図る建築物
- ・ 倉庫、車庫などの付帯建築物（基本的に 200 ㎡未満）ではない主たる用途のもの
- ・ 将来的に再編、建替え、廃止等が見込まれていない建築物

(2) 修繕・更新周期の設定

周期を設定し修繕・更新を行う部位・設備については、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、編集・発行：一般財団法人建築保全センター）」の各部位・設備の主要な部材の修繕・更新周期を参考に部位・設備等の修繕・更新周期を以下のとおり設定します。この周期と部位・設備ごとの単価を用いて算出します。

表 4-1 修繕・更新周期

部位・設備		事務所モデル周期（年）				学校モデル周期（年）			
		小規模 （～1,500 ㎡）		中規模 （1,500～ 15,000 ㎡）		校舎		体育館	
		修繕	更新	修繕	更新	修繕	更新	修繕	更新
建築 部位	屋根・屋上	20	30	20	30	5	25	5	25
	外壁	20	40	10	50	20	40	20	40
	外部建具	20	40	20	40	20	40	20	40
電気 設備	電力・受変電	15	30	15	30	15	30	－	－
	通信・情報等	5	25	5	25	5	25	－	25
機械 設備	空調	10	20	10	20	7	20	7	20
	換気	5	30	5	30	10	30	5	30
	給排水・その他	5	30	5	30	15	30	－	30
	消火	－	－	－	－	15	30	－	40

資料：平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）

※部位・設備のなかで、複数の部材があり周期が異なる場合は、そのなかで主要部材の周期としています。

(3) 修繕・更新、改築等の単価設定

修繕・更新、改築の単価は、「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト」を参考に設定します。

(4) 将来の財源見込みの設定

過去 5 年間の施設関連経費より、今後公共施設の修繕・更新等に充当可能な財源見込みを設定します。公共施設にかけることができる財源見込みは、過去 5 年間の施設関連経費の平均の 5.5 億円とします。

4.2 標準使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用

40年間の修繕・更新等費用の合計は、約517.9億円、1年間の平均は約13.0億円となります。

これまで多くの建築物が定期的な修繕・更新等を行ってこなかったため、それらの建築物の大規模改修等を2021年に一斉に実施すると仮定した場合、膨大な費用がかかることになってしまいます。その後、改築の時期を順次迎え、その費用が大きな負担となることが予想されます。

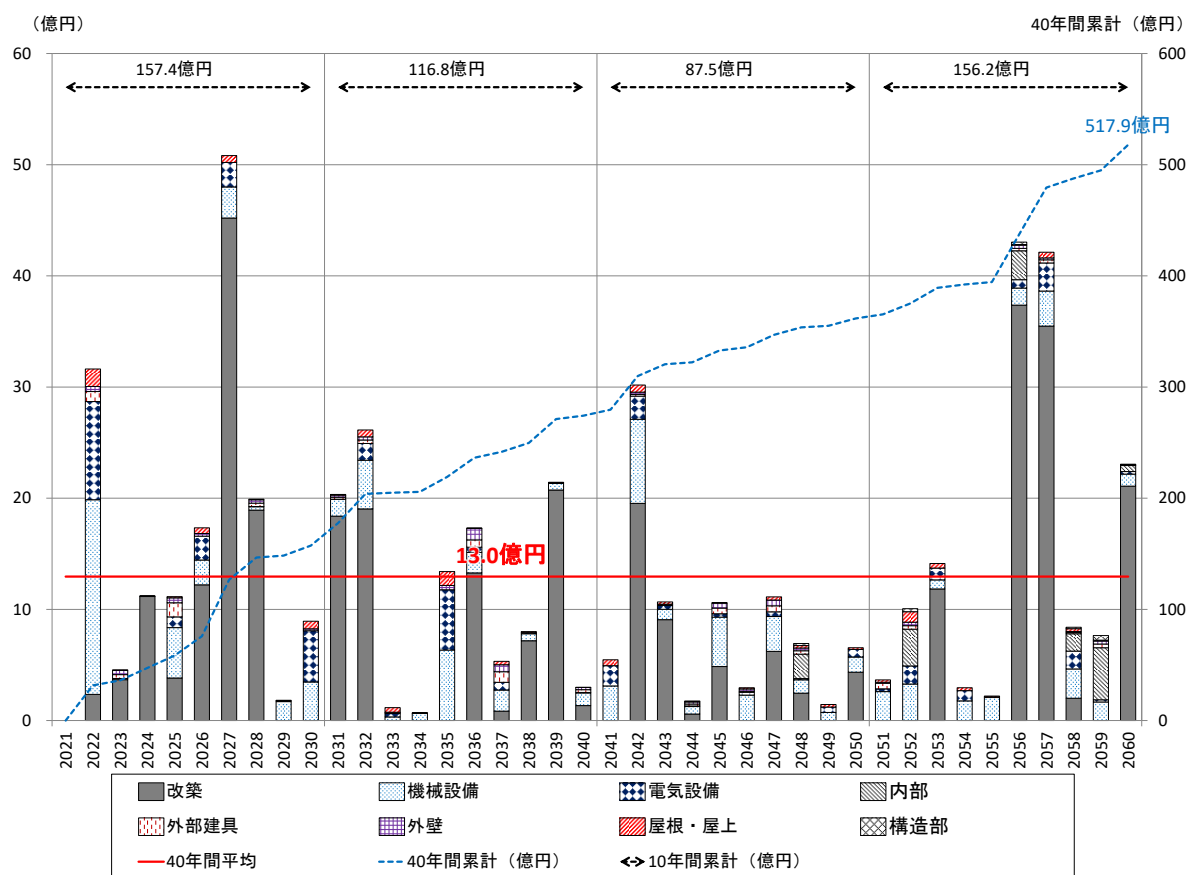


図 4-1 標準使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用

※標準使用年数は、SRC造・RC造が60年、S造が45年、W造・その他が30年

4.3 修繕・更新等の費用の平準化の考え方

前項の修繕・更新等の費用の見通しの算出結果をみると、今後 10 年間に修繕・更新等費用が集中し、膨大な費用がかかることが見込まれるため、劣化状況から更新等の優先順位を設定し、財政制約ラインを踏まえた計画的な改修の実施により、費用の平準化を図ります。

総合劣化度評価点の低い建物や、劣化状況調査により D 評価（早急に対応が必要）と判定された部位・設備は更新の優先度が高い建物とし、建物の用途などを考慮したうえで、更新時期を設定します。

表 4-2 総合劣化度評価点の順位

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 劣化度 評価点
函南中学校	体育部室	S造	289	1981	D	D	D	C	B	C	239
蛇ヶ橋ポンプ場	機場	RC造	553.41	1988	D	D	C	C	B	D	281
函南町老人いこいの家	いこいの家	S造	376.47	1976	C	C	C	D	D	D	284
東小学校	給食棟	S造	212.53	1976	C	C	C	D	C	C	314
函南町立間宮地区公民館	公民館	RC造	654.92	1979	C	C	C	D	C	C	350
函南町し尿処理場	管理棟	RC造	81.98	1985	C	C	C	C	C	C	330
函南町し尿処理場	機械室棟	RC造	192.84	1985	B	C	C	C	D	C	370
函南町ごみ焼却場	工場棟	RC造	4887.42	2000	C	C	C	C	C	D	392
東小学校	校舎（A棟）	RC造	2447.02	1976	B	C	C	C	C	D	414
東小学校	屋内運動場	S造	1042	1979	B	C	C	D	B	D	425
西小学校	校舎A棟	RC造	2257.66	1979	C	B	B	D	D	D	430
西小学校	校舎B棟	RC造	1905.85	1979	C	B	B	D	D	C	460
西小学校	校舎C棟	RC造	1425.83	1979	C	B	B	D	C	D	460
函南町ふれあいセンター	保健センター①	S造	601.5	1979	B	B	B	D	D	D	482
東小学校	校舎（B棟）	RC造	1719.97	1976	C	B	B	C	C	D	484
東小学校	校舎（B棟増築）①	RC造	654.16	1978	C	B	B	C	C	D	488
東小学校	校舎（B棟増築）②	RC造	611.64	1982	C	B	B	C	C	D	496
西小学校	給食棟	S造	265.57	1979	B	B	B	D	D	D	500
函南小学校	校舎（北側）①	RC造	995	1968	B	B	B	D	D	C	510
函南小学校	校舎（北側）②	RC造	2966	1968	B	B	B	D	D	C	510
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎①	W造	845	1996	C	B	C	—	C	C	519
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎②	W造	845	1996	C	B	C	—	C	C	519
函南町立木立キャンプ場	管理棟	W造	158.5	1993	B	C	B	B	D	D	523
丹那小学校	校舎	RC造	1597	1978	B	C	B	C	D	B	523
東中学校	部室	S造	162	1982	B	C	C	C	—	B	526
函南町ごみ焼却場	付属棟①	S造	397.51	2000	B	C	C	C	C	B	527
函南中学校	函中技術科棟	S造	650	1983	B	B	C	C	C	C	528
落合排水機場	機場	RC造	302.79	1980	B	B	B	D	D	C	532
西小学校	屋内運動場	S造	1032.48	1981	B	B	B	C	B	C	534
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑥	W造	845	1997	C	B	C	—	B	C	556
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑦	W造	844.2	1997	C	B	C	—	B	C	556
函南小学校	給食棟	S造	336.71	1979	B	B	B	D	C	C	560
二葉幼稚園	園舎	S造	622.52	1979	B	B	C	B	D	B	560
函南町体育館	体育館	SRC造	2501	1983	B	C	C	B	B	B	563
丹那幼稚園	園舎	S造	218.75	1978	A	B	B	D	D	C	578
函南中学校	屋内運動場	S造	3067.79	2008	A	A	C	D	D	D	588
東中学校	校舎	S造	5697.24	1982	B	B	B	C	C	C	596
函南町わかくさ共同作業所	小規模授産所	S造	255.86	1997	B	B	C	B	D	B	596
函南小学校	屋内運動場	S造	1056.4	1980	B	B	B	D	B	C	597
函南町し尿処理場	車庫棟	S造	45.5	1985	B	C	B	B	B	C	600
間宮幼稚園	園舎	S造	506.24	1983	B	B	C	C	B	B	604

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 劣化度 評価点
函南町ごみ焼却場	管理棟	S造	693.52	2000	B	B	B	B	D	D	607
函南町保健福祉センター	福祉保健施設	RC造	3268.83	1996	B	B	B	C	C	C	624
桑村小学校	校舎	RC造	2536.19	1982	B	B	B	C	B	C	631
東中学校	体育館・技術科棟	S造	2836.9	1982	B	B	B	C	B	C	631
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎④	W造	800	1997	B	B	B	D	B	C	631
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑤	W造	468	1997	B	B	B	D	B	C	631
丹那小学校	給食棟	RC造	336.98	2000	B	B	B	D	C	B	637
函南町文化センター	函南町文化センター	S造	3489.62	1986	B	B	B	D	B	B	644
函南中学校	函南中学校プール管理棟	S造	619.8	1983	B	A	B	C	C	C	648
函南町西部コミュニティセンター	集会場①	RC造	1308.36	1997	B	B	B	C	C	B	661
自由ヶ丘幼稚園	園舎	S造	920	1986	B	C	B	B	B	B	665
桑村小学校	給食棟①	S造	158.17	1982	B	B	B	C	B	B	666
函南町農村環境改善センター	農村環境改善センター	RC造	1057.01	1996	A	C	B	C	B	B	674
函南町堆肥生産プラント	堆肥製品倉庫	S造	286.11	1997	B	B	A	C	C	C	676
函南町役場	函南町役場庁舎	SRC造	10705.18	2005	B	B	B	B	C	C	677
桑村小学校	屋内運動場	S造	698	1982	A	B	B	C	B	C	681
函南中学校	北側普通教室棟①	RC造	1569	1972	A	B	A	B	C	D	681
函南中学校	北側普通教室棟②	RC造	1344	1972	A	B	A	B	C	D	681
丹那小学校	屋内運動場	S造	549	1978	B	B	B	B	B	B	693
稲妻排水機場	機場	RC造	246.14	1997	B	B	B	C	B	B	696
函南中学校	南側特別教室棟①	RC造	2434.55	1972	A	B	A	B	C	C	711
函南中学校	昇降口通路	RC造	626	1972	A	B	A	B	C	C	711
函南小学校	校舎（増築）	RC造	678.38	1982	A	B	A	C	B	C	731
函南中学校	生徒会室	S造	265.5	1992	A	B	B	C	B	B	736
湯～トピアかんなみ	湯～トピアかんなみ	RC造	2897.77	2002	B	B	B	B	B	B	741
春光幼稚園	園舎	S造	975.12	2005	A	C	B	B	B	A	752
自由ヶ丘幼稚園	幼稚園	S造	132.17	1999	B	B	B	B	A	B	754
東中学校	給食棟	S造	625.32	1997	A	A	B	C	C	B	761
函南町西部コミュニティセンター	集会場②	S造	220.51	1997	A	A	B	C	B	B	796
函南中学校	給食棟①	S造	609.12	1997	A	A	B	C	B	B	796

4.4 目標使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用

修繕・更新等費用の平準化の考え方を踏まえ、部位別の修繕・更新時期を平準化して目標使用年数まで維持した場合の40年間の修繕・更新等費用の合計は、約429.0億円、1年間の平均は約10.7億円となります。

目標使用年数まで長寿命化されることにより、標準使用年数まで維持した場合に比べて、40年間で約88.9億円が削減できる見込みです。

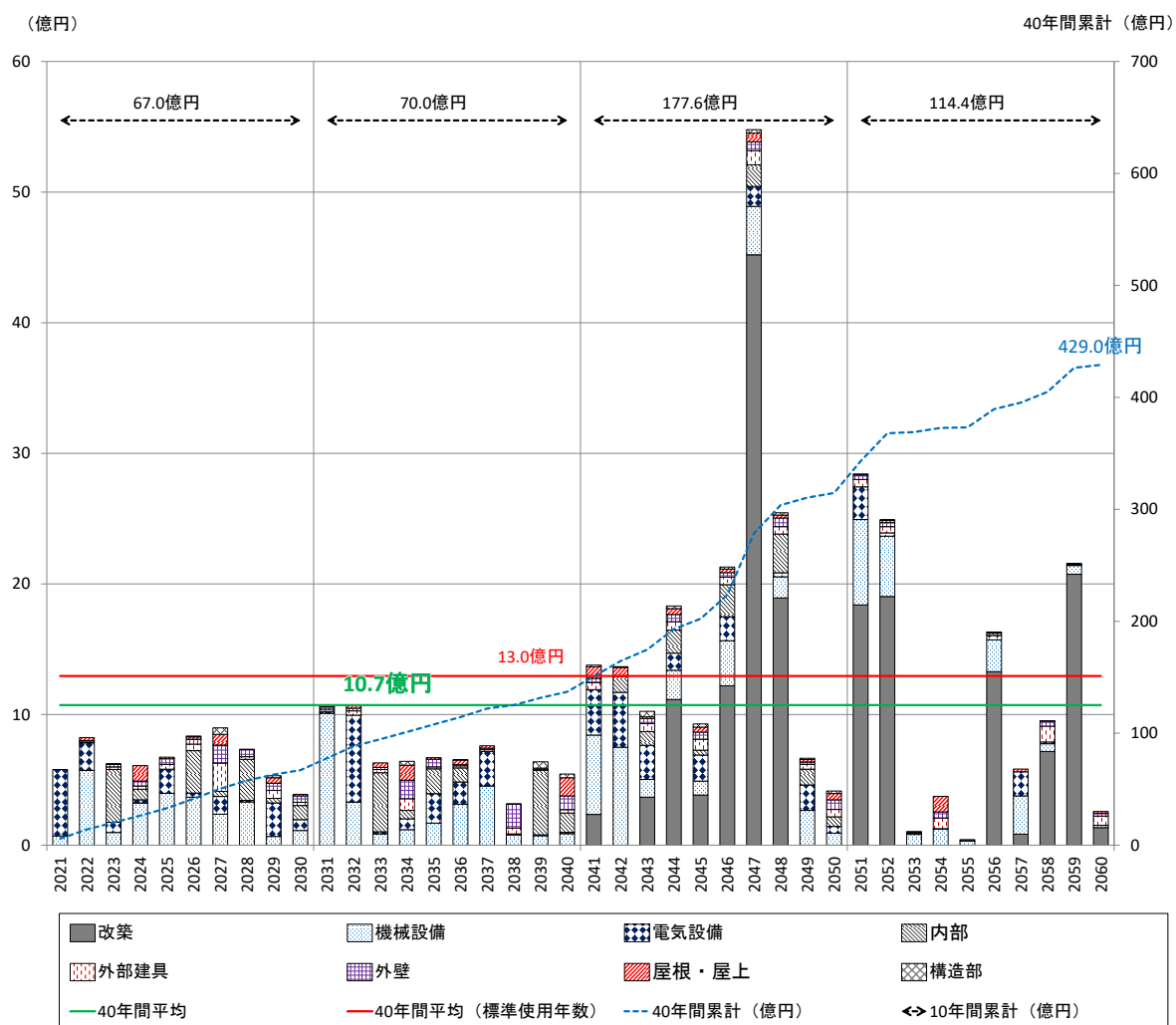


図 4-2 目標使用年数まで維持した場合の修繕・更新等費用

※目標使用年数は、SRC 造、RC 造が 80 年、S 造が 65 年、W 造、その他が 40 年

5. 施設類型別長寿命化計画

5.1 住民文化系施設

(1) 保全手法、ロードマップ

「函南町立間宮地区公民館」、「函南町西部コミュニティセンター」、「函南町農村環境改善センター」、「函南町文化センター」の主要建物については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施します。

「函南町文化センター」の機械設備は今後5年を目途に更新時期を迎えるため、設備の更新を検討します。

表 5-1 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構 造 部	屋 根 屋 上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
函南町立間宮地区公民館	公民館	RC造	655	1979	予防保全	C	C	C	D	C	C	350
函南町西部コミュニティセンター	集会場①	RC造	1,308	1997	予防保全	B	B	B	C	C	B	661
	集会場②	S造	221	1997	予防保全	A	A	B	C	B	B	796
	駐輪場	S造	7	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町立間宮地区公民館(管理人住宅)	管理人住宅	W造	45	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町農村環境改善センター	農村環境改善センター	RC造	1,057	1996	予防保全	A	C	B	C	B	B	674
	LPガスボンベ庫	その他	6	1996	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町文化センター	函南町文化センター	S造	3,490	1986	予防保全	B	B	B	D	B	B	644
	車庫	S造	137	2012	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-2 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部 位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
1	函南町立間宮地区 公民館	公民館	RC造	42	構造部			更新		改築
					屋根・屋上			更新		改築
					外壁			更新		改築
					内部			更新		改築
					機械設備			更新		改築
					電気設備			更新		改築
2	函南町西部コミュ ニティセンター	集会場①	RC造	24	構造部				更新	
					屋根・屋上			更新		
					外壁				更新	
					内部			更新		
					機械設備			更新		更新
					電気設備				更新	
3	函南町西部コミュ ニティセンター	集会場②	S造	24	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
4	函南町農村環境改 善センター	農村環境改善セン ター	RC造	25	構造部				更新	
					屋根・屋上			更新		
					外壁				更新	
					内部			更新		
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
5	函南町文化セン ター	函南町文化セン ター	S造	35	構造部				更新	改築
					屋根・屋上			更新		改築
					外壁			更新		改築
					内部			更新		改築
					機械設備	更新				改築
					電気設備			更新		改築

主な劣化状況		
函南町立間宮地区公民館  部位：内部 評価：D 内部仕上げ 壁クラック	函南町立間宮地区公民館  部位：内部 評価：D 天井 雨漏り跡	函南町西部コミュニティセンター  部位：内部 評価：C 内部仕上げ壁クロス剥がれ
函南町西部コミュニティセンター  部位：内部 評価：C 壁クロス 割れ各所	函南町農村環境改善センター  部位：屋根・屋上 評価：C 排煙窓 錆汁発生	函南町文化センター  部位：内部 評価：D 壁 クロス剥離・破損

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約37.3億円、年平均で約0.9億円、直近10年間では約3.8億円の費用が掛かる見込みです。

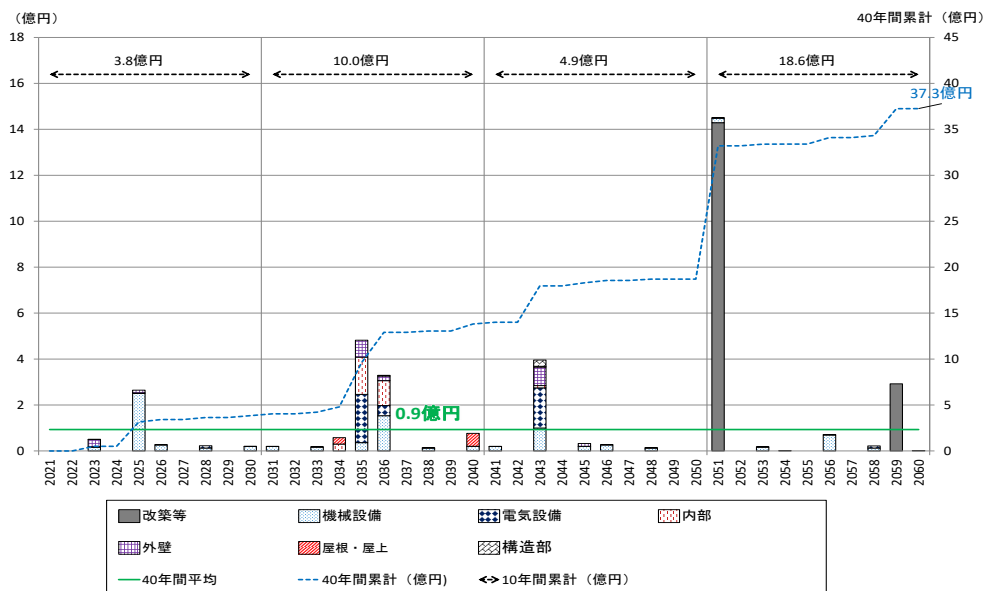


図 5-1 修繕・更新費用の見通し

5.2 社会教育系施設

(1) 保全手法、ロードマップ

社会教育系施設については、全て建築後10年以内の新しい建物ため、小規模な機械室を除き、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施します。

表 5-3 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
函南町図書館等複合施設	函南町立図書館	S造	1,820	2012	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	函南町子育てふれあい地域交流センター	S造	983	2012	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	ウッドデッキ	W造	791	2012	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	機械室	S造	34	2012	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
かなみみの里美術館	かなみみの里美術館	RC造	182	2011	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	管理棟	S造	254	2011	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	資料館棟	RC造	108	2011	予防保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-4 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
6	函南町図書館等複合施設	函南町立図書館	S造	9	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
7	函南町図書館等複合施設	函南町子育てふれあい地域交流センター	S造	9	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
8	函南町図書館等複合施設	ウッドデッキ	W造	9	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
9	かなみみの里美術館	かなみみの里美術館	RC造	10	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
10	かなみみの里美術館	管理棟	S造	10	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
11	かなみみの里美術館	資料館棟	RC造	10	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約12.0億円、年平均で約0.3億円、直近10年間では約1.0億円の費用が掛かる見込みです。

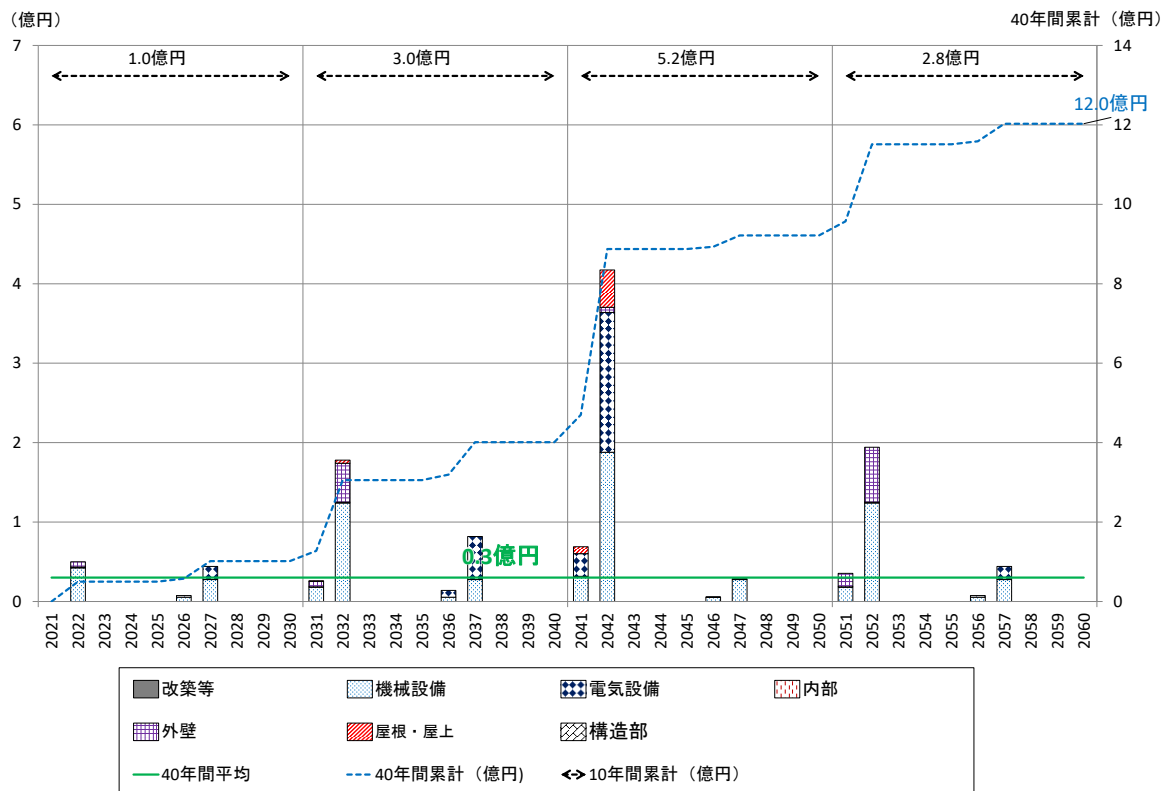


図 5-2 修繕・更新費用の見通し

5.3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 保全手法、ロードマップ

「函南町体育館」「函南町運動公園」「函南町立木立キャンプ場（管理棟）」「道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」（道の駅建屋）」「川の駅「伊豆ゲートウェイ」」は予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施します。

表 5-5 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
函南町体育館	体育館	SRC造	2,501	1983	予防保全	B	C	C	B	B	B	563
函南運動公園	事務所	S造	450	2013	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町立木立キャンプ場	管理棟	W造	159	1993	予防保全	B	C	B	B	D	D	523
	便所・洗面所棟	その他	25	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	炊飯棟	W造	44	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	道の駅建屋（北側敷地）	W造	1,395	2017	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	道の駅防災倉庫（南側敷地）	W造	208	2017	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	その他	149	2019	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
肥田簡易グラウンド	肥田簡易グラウンド便所	その他	6	2003	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	仮設倉庫	その他	15	2003	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-6 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
12	函南町体育館	体育館	SRC造	38	構造部				更新	
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部				更新	
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
13	函南運動公園	事務所	S造	8	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
14	函南町立木立キャンプ場	管理棟	W造	28	構造部				改築	
					屋根・屋上			更新	改築	
					外壁			更新	改築	
					内部				改築	
					機械設備			更新	改築	
					電気設備			更新	改築	
15	道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	道の駅建屋（北側敷地）	W造	8	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁					
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備				更新	
16	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	S造	2	構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備				更新	

主な劣化状況		
函南町体育館 	函南町体育館 	函南町立木立キャンプ場 (管理棟) 
部位：屋根・屋上 評価：C 屋根折板 発錆	部位：外壁 評価：C 2階上部 塗装浮き	部位：機械設備 評価：D ポンプ表示パネル警報表示
函南町立木立キャンプ場 (管理棟) 		
部位：電気設備 評価：D 照明器具の交換時期		

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約11.1億円、年平均で約0.3億円、直近10年間では約0.7億円の費用が掛かる見込みです。

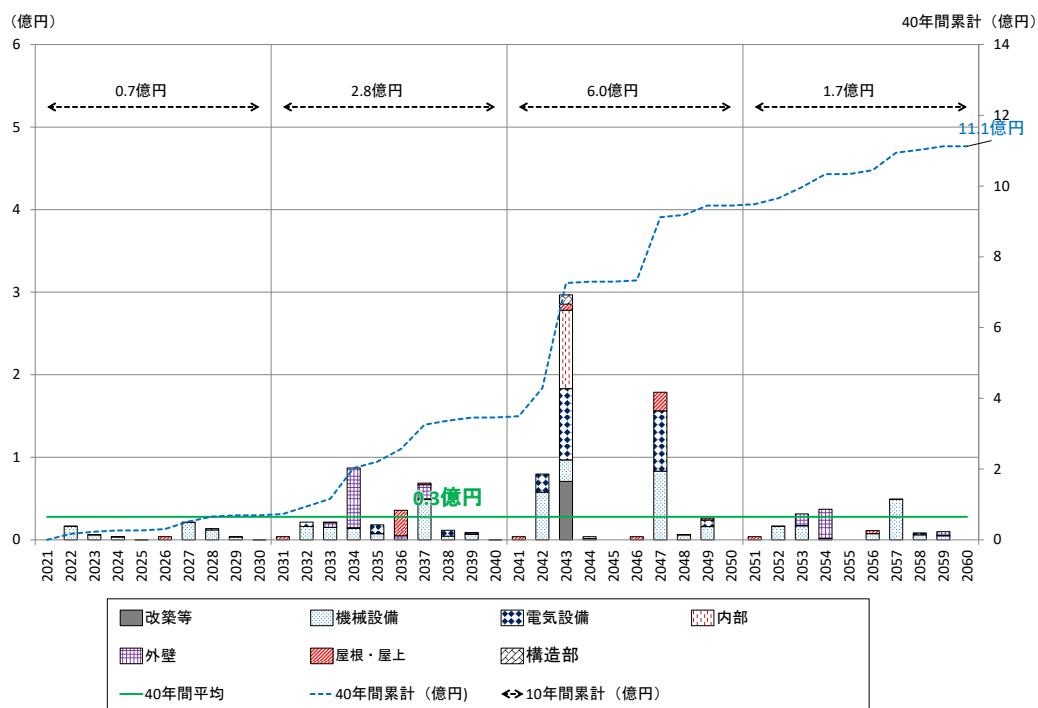


図 5-3 修繕・更新費用の見通し

5.4 学校教育系施設

(1) 保全手法、ロードマップ

小中学校の校舎や屋内運動場、武道場については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施することとします。

函南小学校、丹那小学校、東小学校は、劣化している部位について、今後5年を目途に更新を実施し、老朽化対策を図ります。また、西小学校については、今後10年以内を目途に全面的な更新を図ります。

函南中学校は、劣化している部位について、今後5年を目途に更新を実施し、老朽化対策を図ります。また、東中学校については、今後10年以内を目途に全面的な更新を図ります。

表 5-7 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構 造 部	屋 根 屋 上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
函南小学校	校舎（北側）①	RC造	995	1968	予防保全	B	B	B	D	D	C	510
	校舎（北側）②	RC造	2,966	1968	予防保全	B	B	B	D	D	C	510
	校舎（増築）	RC造	678	1982	予防保全	A	B	A	C	B	C	731
	屋内運動場	S造	1,056	1980	予防保全	B	B	B	D	B	C	597
	給食棟	S造	337	1979	予防保全	B	B	B	D	C	C	560
	渡り廊下	S造	51	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	校舎増築（印刷室）	S造	22	1983	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	水泳プール管理棟	S造	55	1987	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	昇降口	S造	34	1980	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	体育器具庫	S造	97	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	オイルタンク庫	S造	8	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボイラー庫	S造	6	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	便所	S造	17	1970	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
丹那小学校	校舎	RC造	1,597	1978	予防保全	B	C	B	C	D	B	523
	屋内運動場	S造	549	1978	予防保全	B	B	B	B	B	B	693
	給食棟	RC造	337	2000	予防保全	B	B	B	D	C	B	637
	校舎増築（図工室）	S造	65	1984	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	プール更衣室	S造	66	1984	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫	S造	49	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫（増築）	S造	58	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	便所①	S造	8	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	便所②	S造	23	2015	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
桑村小学校	校舎	RC造	2,536	1982	予防保全	B	B	B	C	B	C	631
	屋内運動場	S造	698	1982	予防保全	A	B	B	C	B	C	681
	給食棟①	S造	158	1982	予防保全	B	B	B	C	B	B	666
	給食棟②	S造	3	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	渡り廊下	S造	96	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	体育器具庫	S造	80	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	プール附属棟	S造	49	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボンベ庫	その他	6	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	外便所	その他	14	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
東小学校	校舎（A棟）	RC造	2,447	1976	予防保全	B	C	C	C	C	D	414
	校舎（B棟）	RC造	1,720	1976	予防保全	C	B	B	C	C	D	484
	校舎（B棟増築）①	RC造	654	1978	予防保全	C	B	B	C	C	D	488
	校舎（B棟増築）②	RC造	612	1982	予防保全	C	B	B	C	C	D	496
	屋内運動場	S造	1,042	1979	予防保全	B	C	C	D	B	D	425
	給食棟	S造	213	1976	予防保全	C	C	C	D	C	C	314
	体育器具庫	S造	40	1976	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	自転車置場	S造	9	1976	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋内タンク貯蔵所	その他	6	1976	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋外便所①	S造	34	2013	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋外便所②	S造	33	2013	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
西小学校	校舎A棟	RC造	2,258	1979	予防保全	C	B	B	D	D	D	430
	校舎B棟	RC造	1,906	1979	予防保全	C	B	B	D	D	C	460
	校舎C棟	RC造	1,426	1979	予防保全	C	B	B	D	C	D	460
	屋内運動場	S造	1,032	1981	予防保全	B	B	B	C	B	C	534
	給食棟	S造	266	1979	予防保全	B	B	B	D	D	D	500
	更衣室棟	RC造	80	2007	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	監視小屋	S造	32	2007	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	オイルタンク庫	S造	2	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ガスボンベ庫	S造	6	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	雑庫	S造	24	1988	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボンベ庫	S造	2	2007	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置	S造	16	2007	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	体育器具庫	S造	55	1983	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋外便所	その他	17	1983	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南中学校	北側普通教室棟①	RC造	1,569	1972	予防保全	A	B	A	B	C	D	681
	北側普通教室棟②	RC造	1,344	1972	予防保全	A	B	A	B	C	D	681
	南側特別教室棟①	RC造	2,435	1972	予防保全	A	B	A	B	C	C	711
	南側特別教室棟②	S造	39	1984	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋内運動場	S造	3,068	2008	予防保全	A	A	C	D	D	D	588
	函中技術科棟	S造	650	1983	予防保全	B	B	C	C	C	C	528
	函中技術科棟付属建物	その他	7	1983	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	生徒会室	S造	266	1992	予防保全	A	B	B	C	B	B	736
	給食棟①	S造	609	1997	予防保全	A	A	B	C	B	B	796
	給食棟②	S造	16	2014	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	昇降口通路	RC造	626	1972	予防保全	A	B	A	B	C	C	711
	体育部室	S造	289	1981	予防保全	D	D	D	C	B	C	239
	体育器具室①	S造	86	1981	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	函南中学校プール管理棟	S造	620	1983	予防保全	B	A	B	C	C	C	648
	南側特別教室増築印刷室	W造	26	1986	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	体育器具室②	S造	54	1987	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	函南中学校部活用倉庫	S造	26	1988	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	渡り廊下	S造	52	2008	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置	S造	36	2008	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	プロパン庫	その他	15	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボイラー庫	その他	8	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
東中学校	校舎	S造	5,697	1982	予防保全	B	B	B	C	C	C	596
	体育館・技術科棟	S造	2,837	1982	予防保全	B	B	B	C	B	C	631
	給食棟	S造	625	1997	予防保全	A	A	B	C	C	B	761
	配膳室棟	S造	121	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	体育器具庫	S造	91	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	部室	S造	162	1982	予防保全	B	C	C	C	—	B	526
	ポンプ室	その他	27	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	プロパン庫	その他	15	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボイラー庫	その他	8	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	便所	RC造	34	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

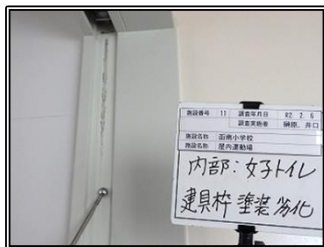
表 5-8 ロードマップ

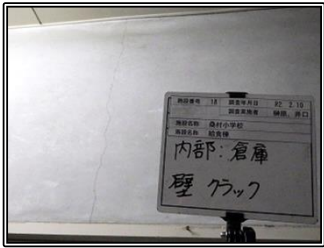
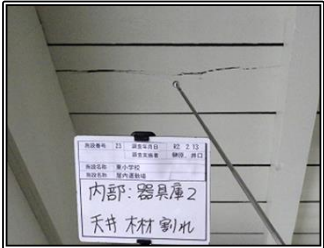
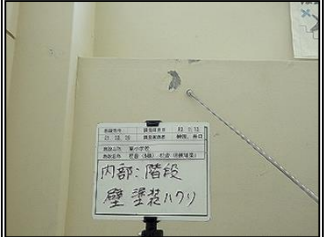
番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
17	函南小学校	校舎（北側）①	RC造	53	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備	更新			改築	
					電気設備				改築	
18	函南小学校	校舎（北側）②	RC造	53	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備	更新			改築	
					電気設備				改築	
19	函南小学校	校舎（増築）	RC造	39	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
20	函南小学校	屋内運動場	S造	41	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
21	函南小学校	給食棟	S造	42	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
22	丹那小学校	校舎	RC造	43	構造部				更新	改築
					屋根・屋上				更新	改築
					外壁				更新	改築
					内部				更新	改築
					機械設備	更新			更新	改築
					電気設備				更新	改築
23	丹那小学校	屋内運動場	S造	43	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
24	丹那小学校	給食棟	S造	21	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部	更新				
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	

番号	施設名	建物名称	構造	経過年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
25	桑村小学校	校舎	RC造	39	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
26	桑村小学校	屋内運動場	S造	39	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
27	桑村小学校	給食棟①	S造	39	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
28	東小学校	校舎（A棟）	RC造	45	構造部				更新	改築
					屋根・屋上				更新	改築
					外壁				更新	改築
					内部				更新	改築
					機械設備				更新	改築
					電気設備	更新				改築
29	東小学校	校舎（B棟）	RC造	45	構造部				更新	改築
					屋根・屋上				更新	改築
					外壁				更新	改築
					内部				更新	改築
					機械設備				更新	改築
					電気設備	更新				改築
30	東小学校	校舎（B棟増築）①	RC造	43	構造部				更新	改築
					屋根・屋上				更新	改築
					外壁				更新	改築
					内部				更新	改築
					機械設備				更新	改築
					電気設備	更新			更新	改築
31	東小学校	校舎（B棟増築）②	RC造	39	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
					電気設備	更新			更新	
32	東小学校	屋内運動場	S造	42	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備				改築	
					電気設備	更新			改築	
33	東小学校	給食棟	S造	45	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
34	西小学校	校舎A棟	RC造	42	構造部		更新			改築
					屋根・屋上		更新			改築
					外壁		更新			改築
					内部		更新			改築
					機械設備	更新			更新	改築
					電気設備	更新				改築
35	西小学校	校舎B棟	RC造	42	構造部		更新			改築
					屋根・屋上		更新			改築
					外壁		更新			改築
					内部		更新			改築
					機械設備		更新		更新	改築
					電気設備		更新			改築
36	西小学校	校舎C棟	RC造	42	構造部		更新			改築
					屋根・屋上		更新			改築
					外壁		更新			改築
					内部		更新			改築
					機械設備		更新		更新	改築
					電気設備	更新				改築
37	西小学校	屋内運動場	S造	40	構造部		更新		改築	
					屋根・屋上		更新		改築	
					外壁		更新		改築	
					内部		更新		改築	
					機械設備		更新		改築	
					電気設備		更新		改築	

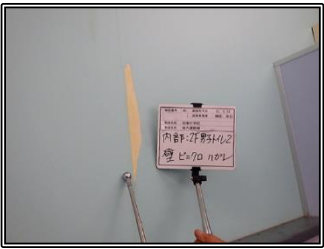
番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目	11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年
38	西小学校	給食棟	S造	42	構造部		更新		改築
					屋根・屋上		更新		改築
					外壁		更新		改築
					内部		更新		改築
					機械設備		更新		改築
					電気設備	更新			改築
39	函南中学校	北側普通教室棟①	RC造	49	構造部			更新	改築
					屋根・屋上			更新	改築
					外壁			更新	改築
					内部			更新	改築
					機械設備			更新	改築
					電気設備	更新			改築
40	函南中学校	北側普通教室棟②	RC造	49	構造部			更新	改築
					屋根・屋上			更新	改築
					外壁			更新	改築
					内部			更新	改築
					機械設備			更新	改築
					電気設備	更新			改築
41	函南中学校	南側特別教室棟①	RC造	49	構造部			更新	改築
					屋根・屋上			更新	改築
					外壁			更新	改築
					内部			更新	改築
					機械設備			更新	改築
					電気設備			更新	改築
42	函南中学校	屋内運動場	S造	13	構造部			更新	
					屋根・屋上			更新	
					外壁			更新	
					内部	更新			
					機械設備	更新		更新	更新
					電気設備	更新		更新	
43	函南中学校	函中技術科棟	S造	38	構造部			改築	
					屋根・屋上			改築	
					外壁			改築	
					内部			改築	
					機械設備			改築	
					電気設備			改築	
44	函南中学校	生徒会室	S造	29	構造部			更新	改築
					屋根・屋上			更新	改築
					外壁			更新	改築
					内部			更新	改築
					機械設備			更新	改築
					電気設備			更新	改築
45	函南中学校	給食棟①	S造	24	構造部			更新	
					屋根・屋上			更新	
					外壁			更新	
					内部			更新	
					機械設備			更新	
					電気設備			更新	
46	函南中学校	昇降口通路	RC造	49	構造部			更新	改築
					屋根・屋上			更新	改築
					外壁			更新	改築
					内部			更新	改築
					機械設備			更新	改築
					電気設備			更新	改築
47	函南中学校	体育部室	S造	40	構造部			改築	
					屋根・屋上			改築	
					外壁			改築	
					内部			改築	
					機械設備			改築	
					電気設備			改築	
48	函南中学校	函南中学校プール 管理棟	S造	38	構造部			改築	
					屋根・屋上			改築	
					外壁			改築	
					内部			改築	
					機械設備			改築	
					電気設備			改築	

番号	施設名	建物名称	構造	経過年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
49	東中学校	校舎	S造	39	構造部		更新		改築	
					屋根・屋上		更新		改築	
					外壁		更新		改築	
					内部		更新		改築	
					機械設備		更新		改築	
					電気設備		更新		改築	
50	東中学校	体育館・技術科棟	S造	39	構造部		更新		改築	
					屋根・屋上		更新		改築	
					外壁		更新		改築	
					内部		更新		改築	
					機械設備		更新		改築	
					電気設備		更新		改築	
51	東中学校	給食棟	S造	24	構造部		更新			
					屋根・屋上		更新			
					外壁		更新			
					内部		更新			
					機械設備		更新		更新	
					電気設備		更新			
52	東中学校	部室	S造	39	構造部			更新	改築	
					屋根・屋上			更新	改築	
					外壁			更新	改築	
					内部			更新	改築	
					機械設備			更新	改築	
					電気設備			更新	改築	

主な劣化状況		
函南小学校(校舎(北側))  部位：内部 評価：D 天井 雨漏り跡	函南小学校(給食棟)  部位：内部 評価：D 内部仕上げ 壁クラック	函南小学校(屋内運動場)  部位：内部 評価：D 建具枠 塗装劣化
函南小学校(校舎(増築))  部位：電気設備 評価：C 屋外コンセント 破損	函南小学校(校舎(北側))  部位：機械設備 評価：D 配管 発錆	丹那小学校(校舎)  部位：機械設備 評価：D 受水槽 塗装剥離

主な劣化状況		
丹那小学校(屋内運動場)  部位：外壁 評価：B 鉄骨柱 発錆各所	丹那小学校(給食棟)  部位：内部 評価：D 壁 クラック	桑村小学校(校舎)  部位：内部 評価：C 壁 塗装剥がれ
桑村小学校(給食棟)  部位：内部 評価：C 壁 クラック	桑村小学校(屋内運動場)  部位：電気設備 評価：C コンセント 破損	東小学校(校舎 (A 棟))  部位：電気設備 評価：D 照明 作動不良
東小学校(校舎 (B 棟))  部位：電気設備 評価：D コンセント 取付不良	東小学校(校舎(B 棟増築))  部位：電気設備 評価：D 照明 作動不良	東小学校(屋内運動場)  部位：内部 評価：D 内部仕上げ 天井木材割れ
東小学校(給食棟)  部位：内部 評価：D 壁ステン 剥離各所	東小学校(校舎(B 棟増築))  部位：内部 評価：C 壁 塗装剥離各所	西小学校(校舎C 棟)  部位：内部 評価：D 天井 雨漏り跡

主な劣化状況		
西小学校(校舎 A 棟)	西小学校(校舎 B 棟)	西小学校(給食棟)
		
部位: 電気設備 評価: D 照明 取付不良	部位: 機械設備 評価: D 換気塔 発錆	部位: 内部 評価: D 壁 クラック
西小学校(屋内運動場)	函南中学校 (北側普通教室棟)	函南中学校 (北側普通教室棟)
		
部位: 内部 評価: C 壁 雨漏り跡	部位: 機械設備 評価: C 配管カバー 欠損	部位: 電気設備 評価: D 照明スイッチ 不良
函南中学校 (南側特別教室棟)	函南中学校(昇降口通路)	函南中学校(体育部室)
		
部位: 電気設備 評価: C アンテナ支柱 発錆	部位: 屋根・屋上 評価: B シート防水 経年劣化	部位: 外壁 評価: D 外壁パネル 発錆
函南中学校 (函中技術科棟)	函南中学校 (函南中学校プール管理棟)	函南中学校(生徒会室)
		
部位: 内部 評価: C 壁仕上材 剥離	部位: 内部 評価: C プール 塗装剥離	部位: 内部 評価: C 壁クロス 剥離

主な劣化状況		
函南中学校(給食棟) 	函南中学校(屋内運動場) 	東中学校(校舎) 
部位：内部 評価：C 天井 雨漏り跡	部位：内部 評価：D クロス 剥離	部位：電気設備 評価：C コンセント BOX 欠損
東中学校(給食棟) 	東中学校 (体育館・技術科棟) 	東中学校 (体育館・技術科棟) 
部位：機械設備 評価：C 配管カバー 変形	部位：内部 評価：C 天井 雨漏り跡各所	部位：電気設備 評価：C 照明 作動不良各所

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約220.8億円、年平均で約5.5億円、直近10年間では約44.7億円の費用が掛かる見込みです。

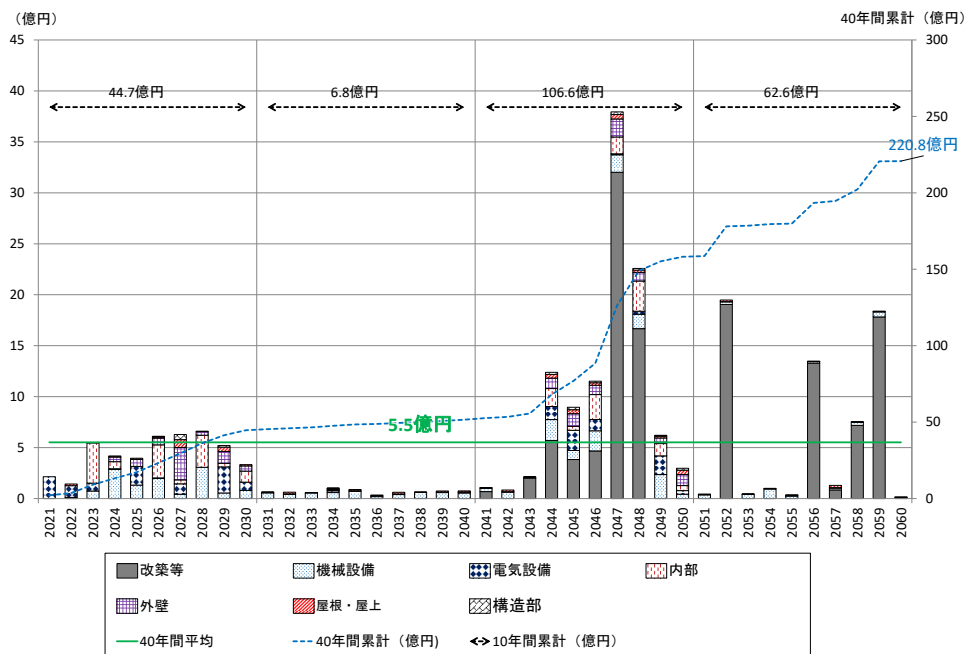


図 5-4 修繕・更新費用の見通し

5.5 子育て支援施設

(1) 保全手法、ロードマップ

幼稚園、保育園の園舎については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施することとします。

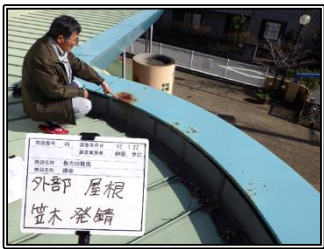
丹那幼稚園の内部、機械設備については、今後5年を目途に更新を実施し、老朽化対策を図ります。

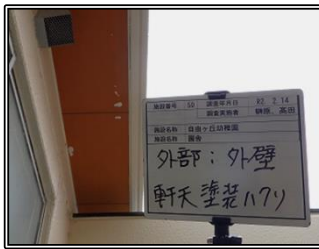
表 5-9 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構 造 部	屋 根 屋 上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
春光幼稚園	園舎	S造	975	2005	予防保全	A	C	B	B	B	A	752
	屋外倉庫	S造	22	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
丹那幼稚園	園舎	S造	219	1978	予防保全	A	B	B	D	D	C	578
	物置	W造	15	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
二葉幼稚園	園舎	S造	623	1979	予防保全	B	B	C	B	D	B	560
	保育室	S造	72	2001	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫	S造	10	2001	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
間宮幼稚園	園舎	S造	506	1983	予防保全	B	B	C	C	B	B	604
	幼稚園	S造	122	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
みのり幼稚園	園舎	S造	992	2008	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
自由ヶ丘幼稚園	園舎	S造	920	1986	予防保全	B	C	B	B	B	B	665
	幼稚園	S造	132	1999	予防保全	B	B	B	B	A	B	754
	トイレ	S造	10	2001	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
西部保育園	園舎	S造	1,385	2011	予防保全	—	—	—	—	—	—	—
	ゴミ置場	S造	2	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	ボンベ庫	S造	2	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	屋外便所	RC造	8	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置①	S造	4	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置②	S造	4	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置③	S造	4	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置④	S造	4	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置⑤	S造	4	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	園舎（増築部分）	W造	150	2016	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町東部第1留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	135	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町東部第2留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	115	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫	S造	58	2011	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町東部第3留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	113	2016	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町西部第1留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	110	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町西部第2留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	115	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫	S造	24	2008	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町中部第1留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	109	1994	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町中部第2留守家庭児童保育所	学童保育所	S造	115	2010	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町北部留守家庭児童保育所	学童保育所	RC造	81	2004	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-10 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
53	春光幼稚園	園舎	S造	16	構造部				更新	
					屋根・屋上			更新		
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
54	丹那幼稚園	園舎	S造	43	電気設備				更新	
					構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部	更新			改築	
55	二葉幼稚園	園舎	S造	42	機械設備	更新			改築	
					電気設備			更新	改築	
					構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁			更新	改築	
56	間宮幼稚園	園舎	S造	38	内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
					構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
57	みのり幼稚園	園舎	S造	13	外壁				更新	
					内部					更新
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	
					構造部				更新	
58	自由ヶ丘幼稚園	園舎	S造	35	屋根・屋上			更新		改築
					外壁				更新	改築
					内部				更新	改築
					機械設備				更新	改築
					電気設備				更新	改築
59	自由ヶ丘幼稚園	幼稚園	S造	22	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部				更新	
					機械設備				更新	
60	西部保育園	園舎	S造	10	電気設備				更新	
					構造部					
					屋根・屋上				更新	
					外壁					更新
					内部					
					機械設備			更新	更新	更新
					電気設備			更新	更新	

主な劣化状況		
春光幼稚園（園舎）	丹那幼稚園（園舎）	二葉幼稚園（園舎）
		
部位：屋根・屋上 評価：C 笠木 発錆	部位：内部 評価：D 壁 塗装剥離	部位：外壁 評価：C 外壁 コケ発生各所

主な劣化状況		
間宮幼稚園（園舎）	自由ヶ丘幼稚園（園舎）	自由ヶ丘幼稚園（幼稚園）
		
部位：外壁 評価：C 外壁 塗装剥がれ	部位：屋根・屋上 評価：C 軒下 塗装剥離	部位：内部 評価：B 壁 ボードクラック

（２）修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和 3（2021）年からの 40 年間で約 28.2 億円、年平均で約 0.7 億円、直近 10 年間では約 1.5 億円の費用が掛かる見込みです。

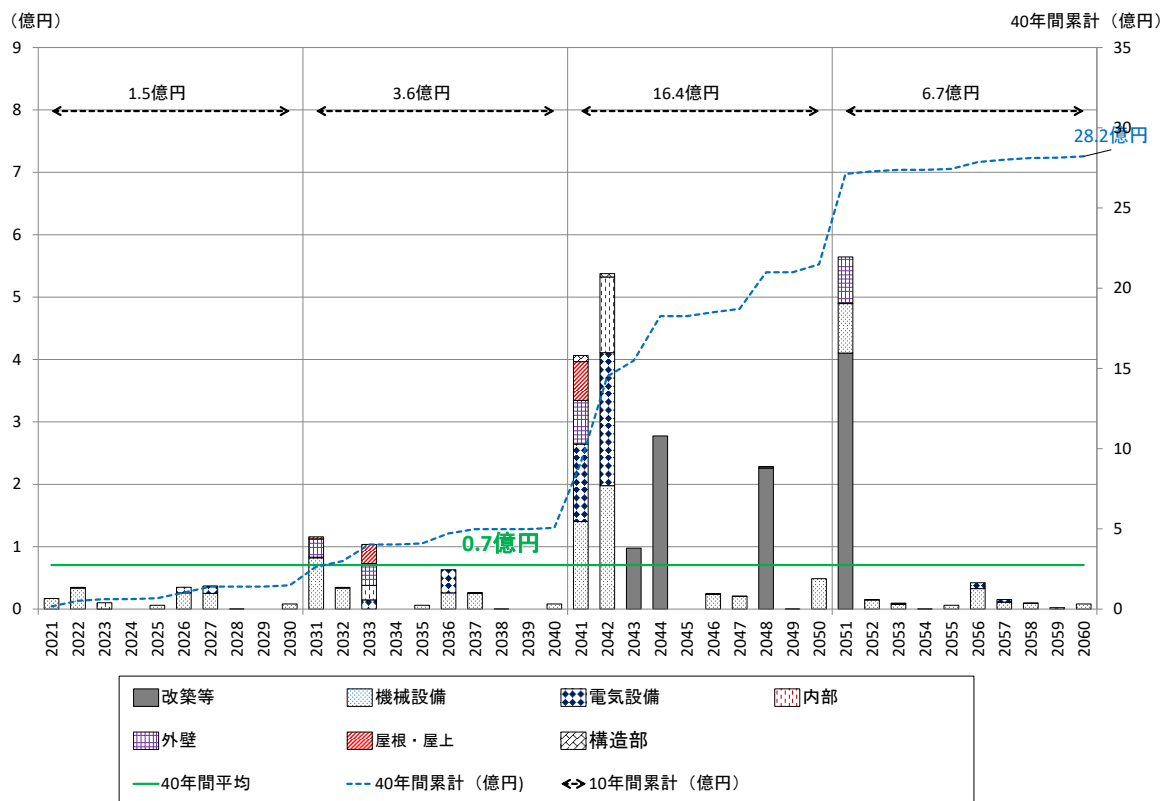


図 5-5 修繕・更新費用の見通し

5.6 保健・福祉施設

(1) 保全手法、ロードマップ

「函南町保健福祉センター（福祉保健施設）」「函南町ふれあいセンター（保健センター①）」「湯～トピアかなみ」「函南町わかさ共同作業所（小規模授産所）」については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施することとします。

「函南町わかさ共同作業所（小規模作業施設）」の機械設備については、今後10年以内を目途に更新を実施し、老朽化対策を図ります。

表 5-11 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
函南町保健福祉センター	福祉保健施設	RC造	3,269	1996	予防保全	B	B	B	C	C	C	624
	設備棟	RC造	70	1996	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町ふれあいセンター	保健センター①	S造	602	1979	予防保全	B	B	B	D	D	D	482
	保健センター②	S造	17	1986	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	保健センター③	S造	9	1989	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫及びガレージ	S造	63	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
湯～トピアかなみ	湯～トピアかなみ	RC造	2,898	2002	予防保全	B	B	B	B	B	B	741
函南町老人いこいの家	いこいの家	S造	376	1976	事後保全	C	C	C	D	D	D	284
函南町わかさ共同作業所	小規模作業施設	S造	256	1997	予防保全	B	B	C	B	D	B	596
	調理棟	S造	42	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	直売棟	W造	10	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置①	S造	8	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置②	S造	3	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	物置③	S造	10	2009	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-12 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
61	函南町保健福祉センター	福祉保健施設	RC造	25	構造部			更新		
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備			更新		更新
					電気設備			更新		
62	函南町ふれあいセンター	保健センター①	S造	42	構造部				改築	
					屋根・屋上			更新	改築	
					外壁				改築	
					内部			更新	改築	
					機械設備			更新	改築	
					電気設備			更新	改築	
63	湯～トピアかなみ	湯～トピアかなみ	RC造	19	構造部			更新		
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
64	函南町わかさ共同作業所	小規模作業施設	S造	24	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁			更新		
					内部				更新	
					機械設備	更新	更新		更新	
					電気設備				更新	

主な劣化状況		
函南町保健福祉センター (福祉保健施設)	函南町ふれあいセンター (保健センター)	函南町老人いこいの家 (いこいの家)
		
部位：機械設備 評価：C 配管カバー 接続不良	部位：電気設備 評価：D スイッチ 作動不良	部位：内部 評価：D 天井 仕上材破損
函南町わかさ共同作業所(小規模作業施設)	湯～トピアかなみ	湯～トピアかなみ
		
部位：機械設備 評価：D 水栓柱 破損	部位：屋根・屋上 評価：B 幕板 クラック各所	部位：外壁 評価：B 外壁クラック・白華

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約27.5億円、年平均で約0.7億円、直近10年間では約2.4億円の費用が掛かる見込みです。

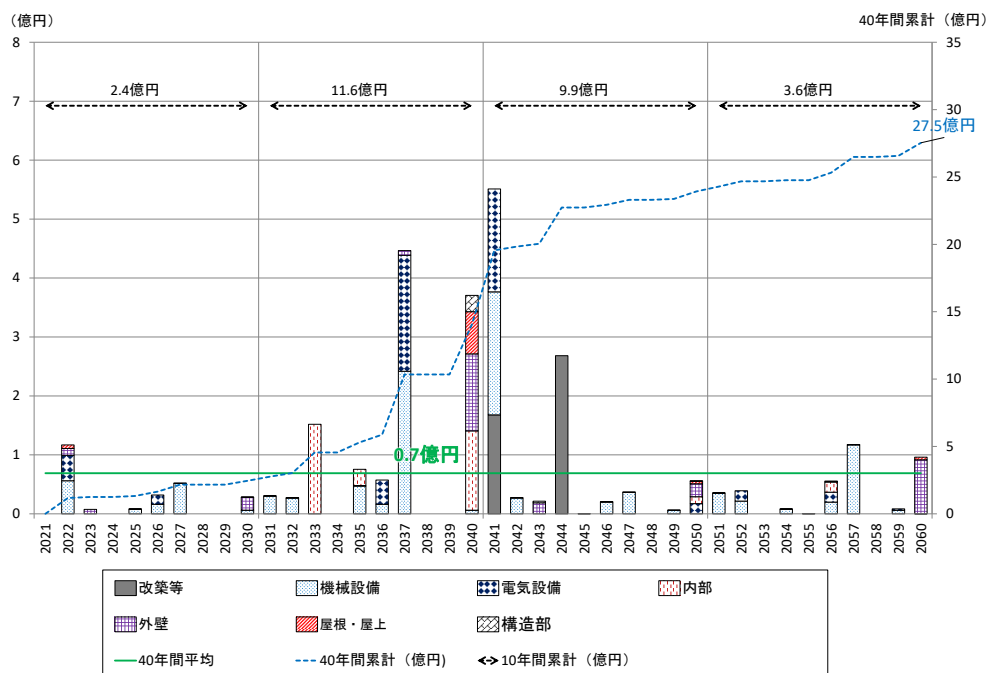


図 5-6 修繕・更新費用の見通し

5.7 行政系施設

(1) 保全手法、ロードマップ

「函南町役場（函南町役場庁舎）」については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施することとします。

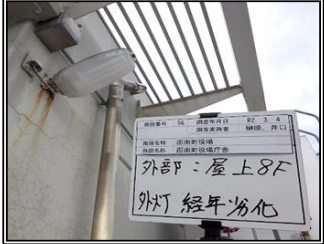
「函南町役場（函南町役場庁舎）」の屋根屋上については、更新周期にもとづき、今後5年を目途に部位の更新を図ります。

表 5-13 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
函南町役場	函南町役場庁舎	SRC造	10,705	2005	予防保全	B	B	B	B	C	C	677
	外部建家	S造	149	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	B棟倉庫	S造	41	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	C棟	S造	50	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	D棟	S造	135	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	E棟	S造	93	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	F棟	S造	54	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	G1棟	S造	122	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	G2棟	S造	122	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	G3棟	S造	119	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	G4棟	S造	119	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	H1棟	S造	81	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	H2棟	S造	81	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	駐輪場1	S造	14	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	駐輪場2	S造	14	2005	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第1分団詰所	車庫及び詰所	S造	78	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第2分団丹那詰所	車庫及び詰所	S造	74	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第2分団軽井沢詰所	車庫及び詰所	S造	48	1994	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第3分団詰所	車庫及び詰所	S造	107	2003	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第5分団詰所	車庫及び詰所	S造	82	1979	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
第6分団詰所	消防車庫	S造	74	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-14 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
65	函南町役場	函南町役場庁舎	SRC造	16	構造部			更新		
					屋根・屋上	更新				更新
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備			更新		更新
					電気設備			更新		更新

主な劣化状況		
函南町役場 (函南町役場庁舎)	函南町役場 (函南町役場庁舎)	函南町役場 (函南町役場庁舎)
		
部位：機械設備 評価：C 非常用ガス発電機 排気管発錆	部位：電気設備 評価：C 外灯 経年劣化各所	部位：屋根・屋上 評価：B 塗布防水剥離・劣化

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約36.0億円、年平均で約0.9億円、直近10年間では約2.1億円の費用が掛かる見込みです。

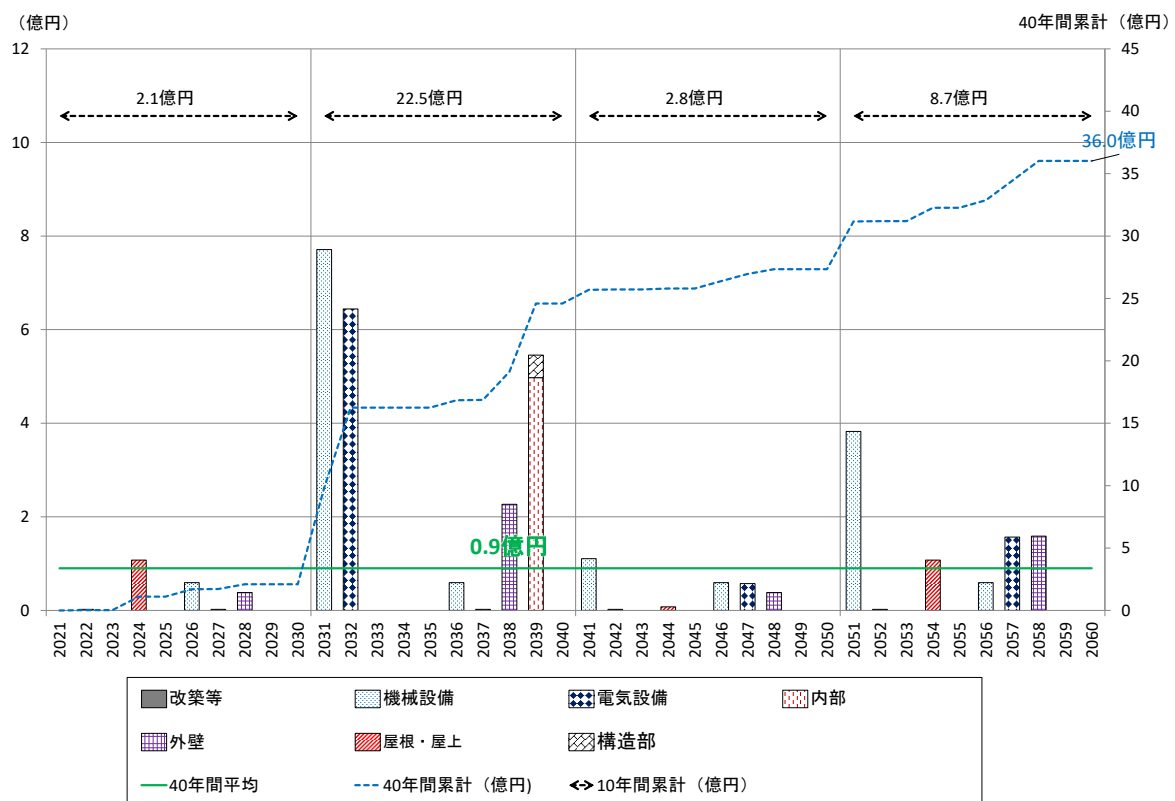


図 5-7 修繕・更新費用の見通し

5.8 公園

(1) 保全手法、ロードマップ

公園については、保全手法を事後保全とし、日常点検等により不具合を発見した際は適宜修繕を実施し、安全性の確保に努めます。

表 5-15 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
函南町原生の森	管理棟	W造	69	1990	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
丹那断層公園	丹那断層トイレ	W造	46	1995	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
日守山公園駐車場	トイレ	W造	20	1995	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
柏谷公園	トイレ①	W造	34	1992	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	パーゴラ棟	W造	24	1992	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	トイレ②	W造	50	1992	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫棟	W造	68	1992	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
仁田さくら公園	トイレ	W造	16	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
間宮児童公園	トイレ	W造	4	1983	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
間宮川向公園	トイレ	W造	3	1990	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

5.9 供給処理施設

(1) 保全手法、ロードマップ

「落合排水機場」「稲妻排水機場」「蛇ヶ橋ポンプ場」「函南町ごみ焼却場」「函南町堆肥生産プラント」の主要な建物については、予防保全型の維持管理により、計画的な修繕・更新を実施することとします。

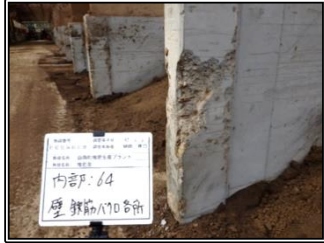
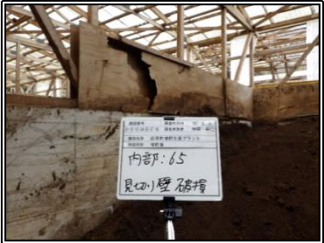
「落合排水機場」の機械設備、電気設備、「稲妻排水機場」の内部、「函南町ごみ焼却場」の機械設備、電気設備については、劣化状況等を考慮し、今後5年以内を目途に更新を実施し、老朽化対策を図ります。

表 5-16 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構 造 部	屋 根 屋 上	外 壁	内 部	機 械 設 備	電 気 設 備	総合 評価点
落合排水機場	機場	RC造	303	1980	予防保全	B	B	B	D	D	C	532
塚本排水機場	機場	RC造	122	1978	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
新田排水機場	機場①	RC造	122	1977	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	機場②	RC造	48	1990	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
畑毛排水機場	機場	RC造	146	1982	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
稲妻排水機場	機場	RC造	246	1997	予防保全	B	B	B	C	B	B	696
新田揚水機場	揚水機場	RC造	11	1995	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
蛇ヶ橋ポンプ場	機場	RC造	553	1988	予防保全	D	D	C	C	B	D	281
函南町ごみ焼却場	工場棟	RC造	4,887	2000	予防保全	C	C	C	C	C	D	392
	管理棟	S造	694	2000	予防保全	B	B	B	B	D	D	607
	付属棟①	S造	398	2000	予防保全	B	C	C	C	C	B	527
	付属棟②	S造	111	2004	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町堆肥生産プラント	堆肥舎①	W造	845	1996	予防保全	C	B	C	—	C	C	519
	堆肥舎②	W造	845	1996	予防保全	C	B	C	—	C	C	519
	堆肥舎③	W造	174	1996	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
	堆肥舎④	W造	800	1997	予防保全	B	B	B	D	B	C	631
	堆肥舎⑤	W造	468	1997	予防保全	B	B	B	D	B	C	631
	堆肥舎⑥	W造	845	1997	予防保全	C	B	C	—	B	C	556
	堆肥舎⑦	W造	844	1997	予防保全	C	B	C	—	B	C	556
	堆肥製品倉庫	S造	286	1997	予防保全	B	B	A	C	C	C	676
	事務所	S造	41	1997	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町し尿処理場	管理棟	RC造	82	1985	事後保全	C	C	C	C	C	C	330
	機械室棟	RC造	193	1985	事後保全	B	C	C	C	D	C	370
	車庫棟	S造	46	1985	事後保全	B	C	B	B	B	C	600
一般廃棄物最終処分場汚水処理施設	機械室	RC造	59	1986	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
函南町農業集落排水処理施設	農村集落排水処理場	RC造	150	1998	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

表 5-17 ロードマップ

番号	施設名	建物名称	構造	経過 年	部位	1～10年目		11～20年目	21～30年目	31～40年目
						～2025年	～2030年	～2040年	～2050年	～2060年
66	落合排水機場	機場	RC造	41	構造部				更新	改築
					屋根・屋上				更新	改築
					外壁				更新	改築
					内部			更新		改築
					機械設備	更新			更新	改築
					電気設備	更新				改築
67	稲妻排水機場	機場	RC造	24	構造部				更新	
					屋根・屋上				更新	
					外壁				更新	
					内部	更新				
					機械設備				更新	
					電気設備				更新	
68	蛇ヶ橋ポンプ場	機場	RC造	33	構造部			更新		改築
					屋根・屋上			更新		改築
					外壁			更新		改築
					内部			更新		改築
					機械設備			更新		改築
					電気設備			更新		改築
69	函南町ごみ焼却場	工場棟	RC造	21	構造部			更新		
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備	更新			更新	更新
					電気設備	更新			更新	更新
70	函南町ごみ焼却場	管理棟	S造	21	構造部			更新		
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備	更新			更新	更新
					電気設備	更新			更新	
71	函南町ごみ焼却場	付属棟①	S造	21	構造部			更新		
					屋根・屋上			更新		
					外壁			更新		
					内部			更新		
					機械設備	更新			更新	
					電気設備			更新		
72	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎①	W造	25	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
73	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎②	W造	25	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
74	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎④	W造	24	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
75	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑤	W造	24	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
76	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑥	W造	24	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
77	函南町堆肥生産プラント	堆肥舎⑦	W造	24	構造部				改築	
					屋根・屋上				改築	
					外壁				改築	
					内部				改築	
					機械設備				改築	
					電気設備				改築	
78	函南町堆肥生産プラント	堆肥製品倉庫	S造	24	構造部					更新
					屋根・屋上					更新
					外壁					更新
					内部				更新	
					機械設備					更新
					電気設備					更新

主な劣化状況		
落合排水機場(機場)	稲妻排水機場(機場)	函南町ごみ焼却場 (工場棟)
		
部位：内部 評価：D 天井 雨漏り跡・破損	部位：内部 評価：C 壁 クラック	部位：電気設備 評価：D 照明 作動不良
函南町ごみ焼却場 (管理棟)	函南町ごみ焼却場 (付属棟)	函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)
		
部位：機械設備 評価：D 手洗い器 水栓作動不良	部位：屋根・屋上 評価：C 屋根葺き材 折板経年劣化	部位：機械設備 評価：C ポンプ配管 破損
函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)	函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)	函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)
		
部位：外壁 評価：C スレート板 破損	部位：内部 評価：D 壁 鉄筋暴露各所	部位：内部 評価：D 壁 破損
函南町堆肥生産プラント (堆肥製品倉庫)	函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)	函南町堆肥生産プラント (堆肥舎)
		
部位：電気設備 評価：C 外灯 カバー欠損・破損	部位：外壁 評価：C コーナー金物 破損	部位：電気設備 評価：C 配線BOX 破損

(2) 修繕・更新等費用の見通し

対象施設を計画的に修繕・更新等を行い、長寿命化を図った場合、令和3(2021)年からの40年間で約56.0億円、年平均で約1.4億円、直近10年間では約10.7億円の費用が掛かる見込みです。

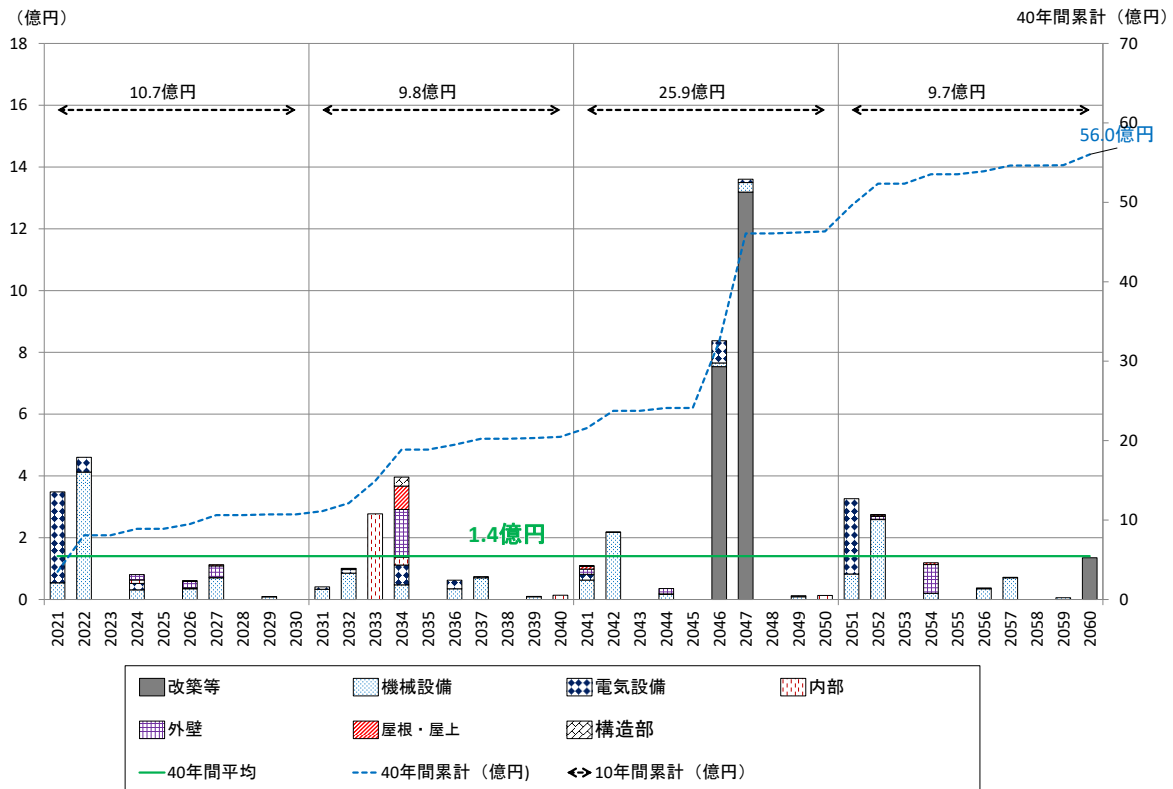


図 5-8 修繕・更新費用の見通し

5.10 その他

(1) 保全手法、ロードマップ

その他については、保全手法を事後保全とし、日常点検等により不具合を発見した際は適宜修繕を実施し、安全性の確保に努めます。

表 5-18 保全手法

施設名称	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	保全 手法	構造 部	屋根 屋上	外壁	内部	機械 設備	電気 設備	総合 評価点
函南町営立体駐車場	函南町営立体駐車場	その他	1,080	2002	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
伊豆仁田駅前防犯立寄所	防犯立寄所	その他	5	2002	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
柏谷温泉源泉地	温泉スタンド	その他	—	—	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
畑温泉入口バス停トイレ	バス停トイレ	その他	24	1993	事後保全	—	—	—	—	—	—	—
桑原薬師堂一般公開用トイレ	公衆便所	その他	3	2007	事後保全	—	—	—	—	—	—	—

6. 計画のフォローアップ

6.1 情報の管理と共有

公共施設カルテ（施設基本情報、建物の劣化度、施設の利用者数、建物の劣化度、維持管理費、修繕履歴等）を活用し、市が保有する公共施設を一元的に管理します。さらに、利用者数、劣化状況等の情報を適宜更新し、最新の情報を保有することで、適切で効率的な管理を行います。

6.2 推進体制

管財課と各施設所管課が連携し、情報共有を行いながら、全庁的な体制で本計画のマネジメントの対応を図っていきます。また、施設の維持管理については、各施設の職員による劣化状況調査や法定点検により、不具合の早期発見と修繕対応を図ります。

6.3 フォローアップ

計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、PDCAサイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。計画推進に当たっては、職員による年1回の劣化状況調査を実施し、調査結果による建物の劣化状況の評価、財務状況等を勘案し、計画の見直し、再検討を行います。

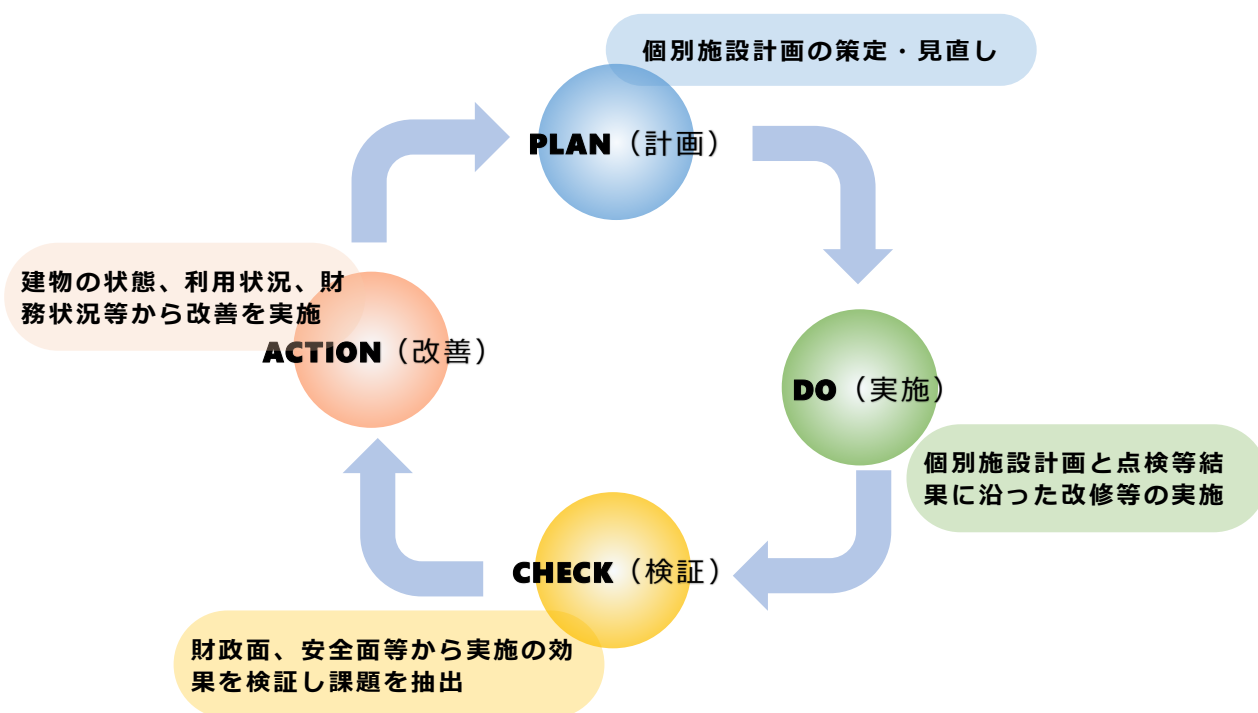


図 6-1 PDCA サイクル

< 参考資料 >

施設関連経費の推移

単位：円

平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和 1 (2019) 年度	5 カ年平均
785, 595, 500	928, 068, 520	626, 172, 357	1, 304, 390, 833	1, 860, 867, 464	1, 101, 018, 934

主な用語の定義

用語	説明
長寿命化	建築物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全	建築物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、性能・機能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理	建築物や設備の性能・機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建築物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建築物の改修や設備の更新を行うこと。
修繕	経年劣化した建築物や設備の部分を、既存のものとおおむね同じ位置におおむね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
更新	既存の建築物や設備を新しく改めること。建築物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。
改築	建築物を建て替えること。
改修	経年劣化した建築物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建築物の性能・機能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、性能・機能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

函南町公共施設個別施設計画

発行年月 令和 3 年 3 月

発 行 函南町

編 集 函南町 総務部 管財課

〒419-0192 静岡県田方郡函南町平井 717 番地の 13

T E L : 055-979-8104

F A X : 055-979-8146